

10-World Champion YOKOMO



CGM

SPECIAL

YOKOMO

MR-4TC SD CGM SPECIAL

2003.12.4

この度はヨコモ製R/Cカーキットをお買い求め頂き、誠に有り難うございます。このキットは、ワールドチャンピオン メーカーであるヨコモの高性能・競技用R/Cカーです。本説明書に従った正しい組立・安全な走行をして頂ければ、誰でも手軽に楽しむことが出来ます。

R/C カーを安全に楽しんで頂くための 注意事項

お子様（中学生以下）が 組立・走行する際は、必ず保護者の方が付き添い 安全を確認して下さい。

■ 組立の注意 ■

- 幼児のいる場所では組み立てないで下さい。小さな部品を飲み込む等、非常に危険です。
- 組立の前に必ず内容をお確かめ下さい。万一不良部品、不足部品などがあった場合は、ヨコモ アフターサービス部までお問い合わせ下さい。
- 組立の前に説明書を最後まで読み、全体の流れをつかむと効率的な組立が出来ます。
- 組み立てる際は、様々な工具が必要になります。安全の為に必ず作業内容に合った工具を使用して下さい。又、カッターナイフ等を使用する際は危険を伴いますので、注意して下さい。
- 部品には様々な素材を使用しています。切削加工された金属パーツ等はエッジが鋭く、慎重な組立が必要となります。ケガをしないように注意して下さい。
- プラスティックパーツなどを切断する際は、切断した部品が飛ぶ危険があるので注意して下さい。
- 回転部や駆動部は出来るだけスムーズに動作するように組み立てて下さい。
- 配線やコード類はきれいにまとめて下さい。回転部分や走行路面にコードが接触すると危険です。又、配線は確実に接続されていないとショートなどの恐れや、性能を十分に発揮出来ない場合があります。
- 必要以上の分解、改造をすると、安全性が低下したり走行性能が十分に発揮出来なくなる場合があります。
- 塗装は、周囲に火気の無いことを確認し、換気の良い場所で行って下さい。

■ 走行の注意 ■

- ヨコモ製R/Cカーは競技用の為、時速40kmを越える速いスピードが出るモデルもあります。ルールを守って安全な場所や、R/Cカー用サーキットで走らせて下さい。
- 公道等、周囲の人の迷惑になるような場所では絶対に走らせないで下さい。
- R/Cカーは電波を利用する為、何らかのトラブルで最悪の場合は暴走する事があります。狭い場所や室内は避け、出来るだけ広い、障害物のない場所で走らせて下さい。
- 周囲にR/Cカーを走らせている人がいる場合は、電波が重ならないように、周波数を確認し合って、安全を確かめて下さい。
- R/Cカーは水を嫌います。雨の日や、水たまりのある場所で走らせると、R/Cメカが壊れたり、暴走する危険があります。
- R/Cカーの駆動部分、ギヤやベルト、タイヤなどは高回転で回ります。バッテリーを接続した後は危険ですので、回転部分に手を触れないで下さい。
- 走行後のR/Cカーは各部が高温になる事があります。危険ですので冷却期間をおいてから、メンテナンスなどをして下さい

■ 走らせる手順 ■

- ① タイヤが空転するように、台の上にR/Cカーを置きます。
- ② スピードコントローラのスイッチがOFFになっている事を確認してから、モーターとバッテリーを接続します。
- ③ 送信機のアンテナを伸ばし、スイッチをONにします。（送信機の電圧が下がっていると危険です。常に電圧の高い状態で使用して下さい。）
- ④ 受信機のスイッチをONにします。

■ 走行終了手順 ■

- ① スピードコントローラのスイッチをOFFにします。
- ② バッテリーの接続を外します。
- ③ 送信機のスイッチをOFFにし、アンテナを縮めます。

■ バッテリーの取り扱い ■

（バッテリーに付属の説明書に基づき使用して下さい。）

- バッテリーを充電する際は、周囲に燃えやすい物のない安全な場所で行って下さい。又、高温な場所での充電も避けて下さい。
- バッテリーの充電中は充電状況を常に確認して下さい。充電器の誤動作などで過充電すると、最悪の場合は発火する危険性があります。バッテリー温度が50度を越えたら充電を中止して下さい。
- 走行後のバッテリーは高い温度になります。連続使用するとバッテリーを傷める事になりますので、冷却期間を置いてから充電して下さい。又、走行後のバッテリーはコンディション放電する事によって、性能を持続させる事が出来ます。
- 不要になったバッテリーは一般のゴミと一緒に捨てずに、お手数でも電池専用の回収箱に捨てて下さい。

■ モーターの取り扱い ■

（モーターに付属の説明書に基づき使用して下さい。）

- 7.2Vのバッテリーでモーターのから回しをすると危険です。モーター内部を破損し部品が飛び出す事も考えられますので、もしモーターのブレークインをする時は、モーターをしっかり固定し3～5V程度でから回しして下さい。
- モーターは定期的なメンテナンスが必要です。劣化するとスピードが出なくなったり、走行時間が短くなります。定期的にクリーニングしたり、ブラシが減ってきたら交換する等のメンテナンスをして下さい。
- モーターの性能に合ったギヤ比を選択して下さい。ギヤ比が最適でないとモーターの性能を十分に発揮出来ないだけでなく、他のR/Cメカを壊す原因にもなります。
- 走行後のモーターは非常に高い温度になります。連続走行するとモーターを傷める事になりますので、冷却期間を置いてから走行して下さい。

【組み立てに必要な物】

ACCESSORIES AND TOOLS NEEDED FOR [MR-4TC SD CGM] ASSEMBLY

■ 走行の為に別にお買い求め頂く物 ■

ADDITIONAL ITEMS REQUIRED FOR USE (NOT INCLUDED IN KIT)

- 2チャンネルプロポ (1サーボ 1アンプ仕様)
TWO CHANNEL R/C SURFACE RADIO SYSTEM
AND ELECTRONIC SPEED CONTROL
- 走行用 7.2V バッテリーパック
7.2V BATTERY PACK
- 走行用バッテリー充電器
BATTERY CHARGER
- 走行用モーター
MOTOR
- タイヤ
TIRES
- 走行用ボディー (ボディー付キットは不要)
BODY
- ボディー塗装用カラー
BODY SPRAY PAINT

■ 袋以外の箱に入っている物 ■

PARTS INCLUDED IN KIT

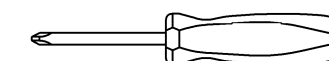
- | | |
|-----------|--------------|
| ● バンパー | BUMPER |
| ● ホイール | WHEELS |
| ● メインシャーシ | MAIN CHASSIS |
| ● ショックオイル | SHOCK OIL |

[MR-4TC SD CGM]の性能を十分に発揮させる為にイラストを良く参照し説明の順番に従って確実に組み上げて下さい。

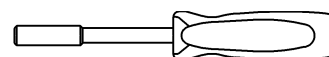
For assembly, follow the figures and the instructions closely so that your [MR-4TC SD CGM] will perform at its best!!

■ 別途用意する工具 ■

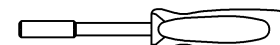
ASSEMBLING TOOLS REQUIRED (NOT INCLUDED IN KIT)



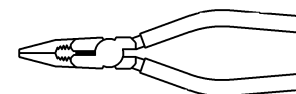
ドライバー (大, 小)
SCREW DRIVER (SMALL & LARGE)



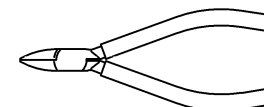
ボックスレンチ (7.0mm)
NUT DRIVER (7.0mm)



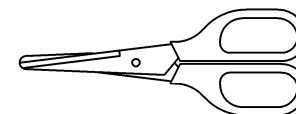
ボックスレンチ (5.5mm)
NUT DRIVER (5.5mm)



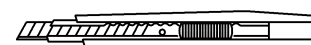
ラジオペンチ
NEEDLE NOSE PLIERS



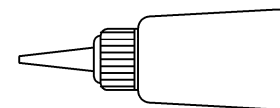
ニッパー
SIDE CUTTER



ハサミ
SCISSORS



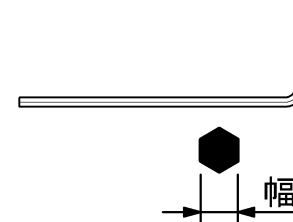
カッター
HOBBY KNIFE



瞬間接着剤
QUICK DRYING GLUE

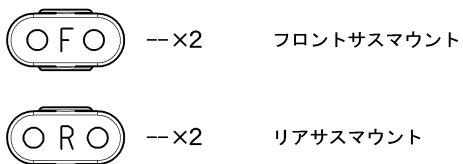
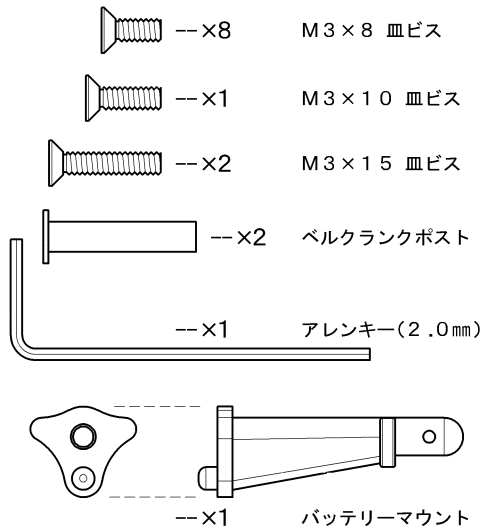
■ キットに入っている工具 ■

TOOLS (INCLUDED)



六角レンチ
ALLEN WRENCH
(2.0mm)
(1.5mm)

【袋①の内容】



2種類のスペーサーは以下のようになります。

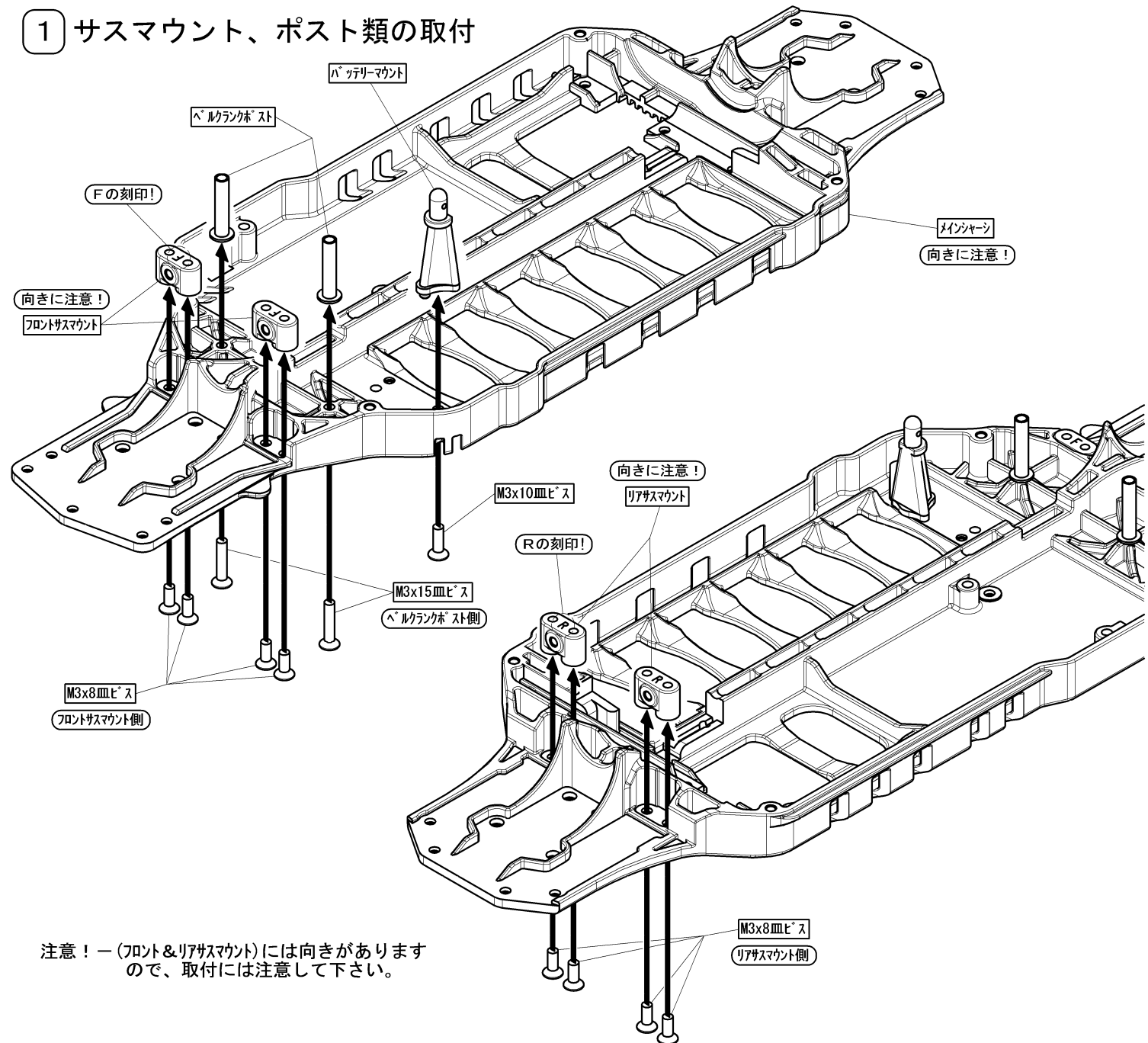
こばん型 = 高さ調整用 1mm厚 (1枚)
 ひょうたん型 = スキッド角調整用 1度 (1枚)

【取付け前にちょっと注目！】

キットに付属する全ての3mm径ネジは、頭の部分が6角タイプ(●)になっています。ネジを回す時は、付属のアレンキー(2.0mm)をご使用下さい。

アレンキーでは作業がしにくい場合は、オプションのワークスレンチ2.0mm(YT-W200 ¥980)をお買い求め下さい。

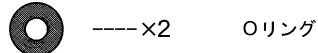
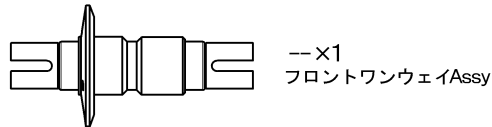
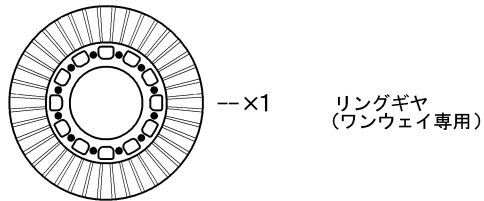
1 サスマウント、ポスト類の取付



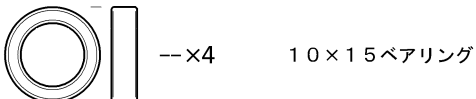
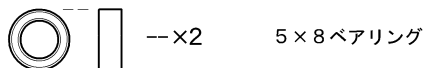
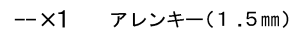
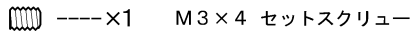
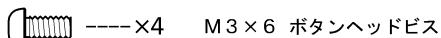
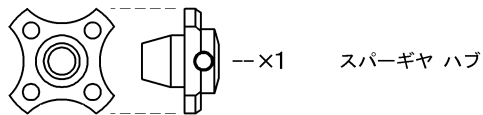
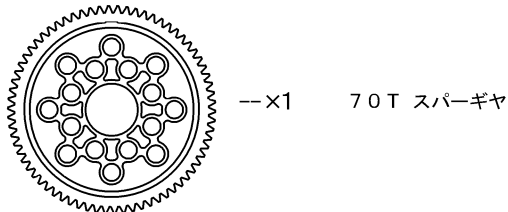
注意！ー(フロント&リアサスマウント)には向きがありますので、取付には注意して下さい。

【 袋② の内容 】

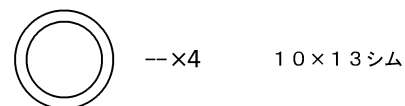
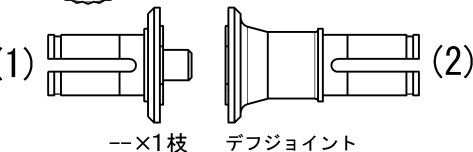
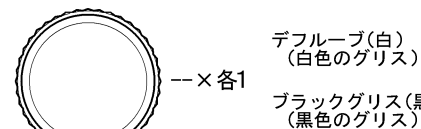
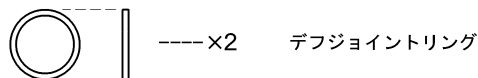
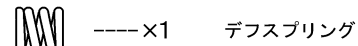
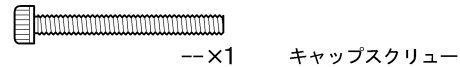
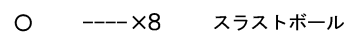
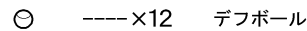
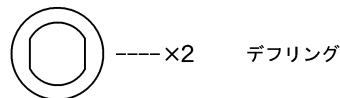
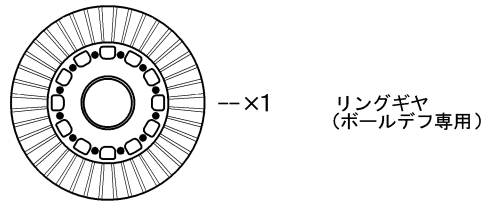
〔フロントワンウェイ用パーツ〕



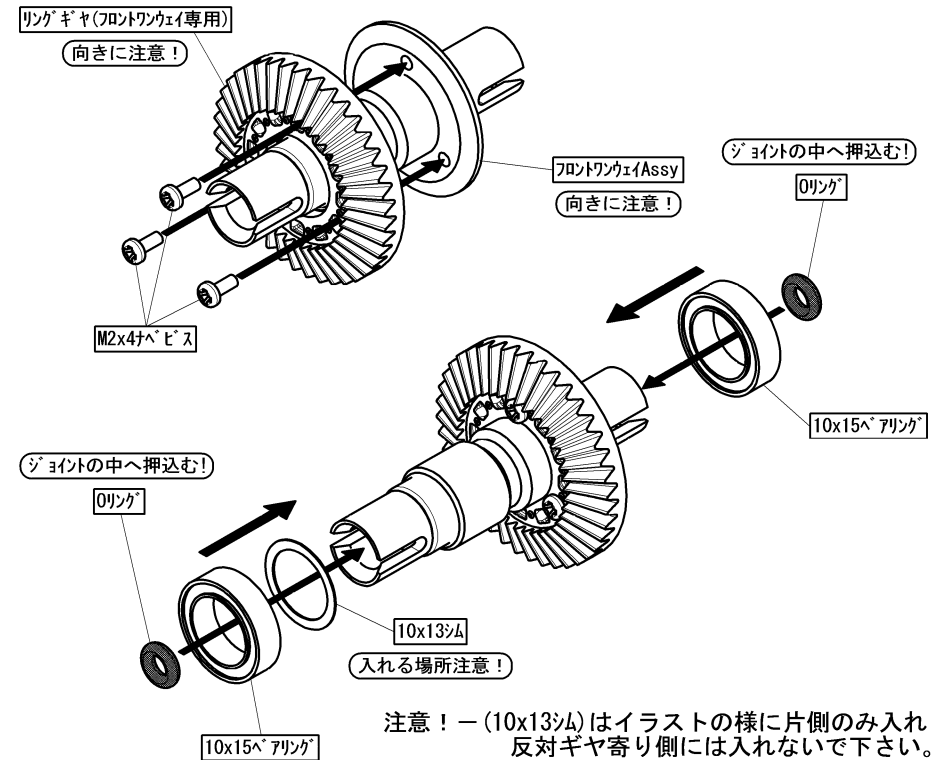
〔スパーギヤ用パーツ〕



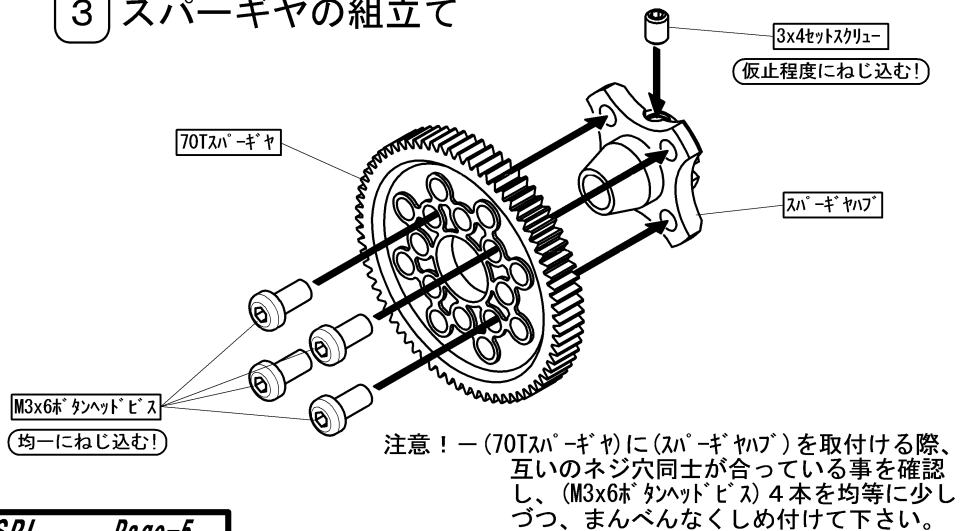
〔リアボールデフ用パーツ〕



2 フロントワンウェイの組立て

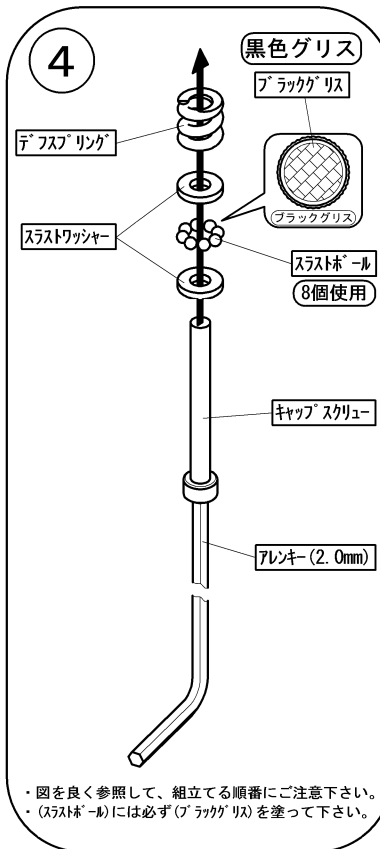
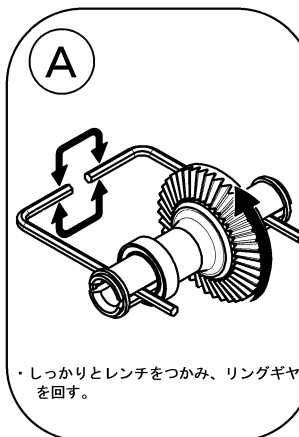
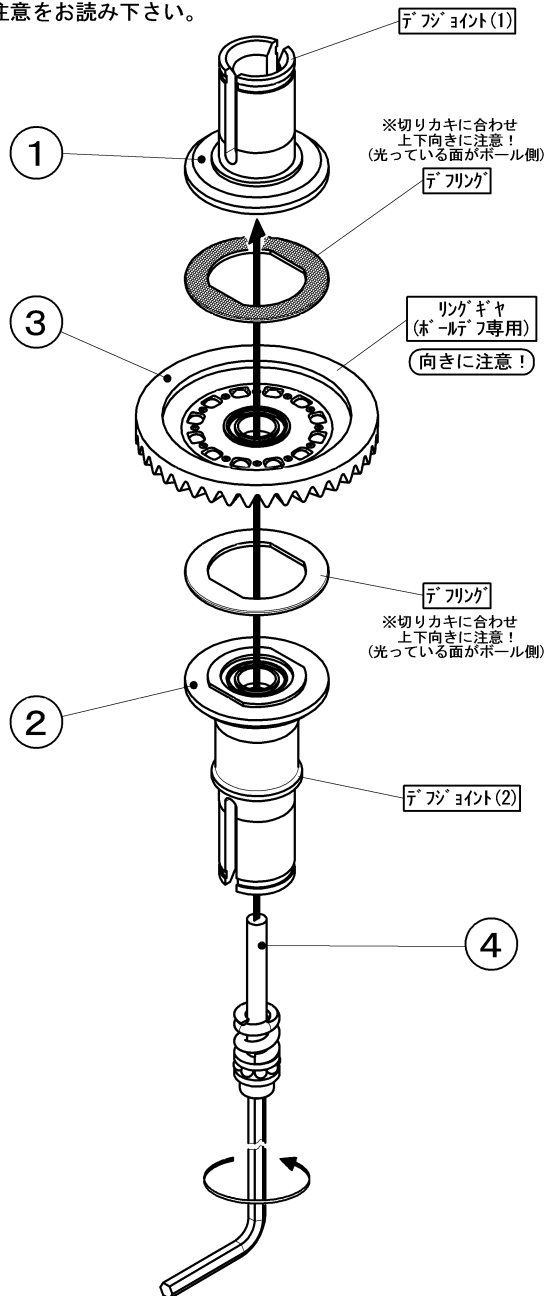
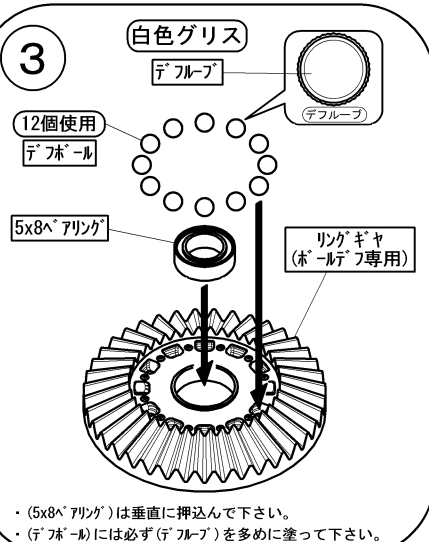
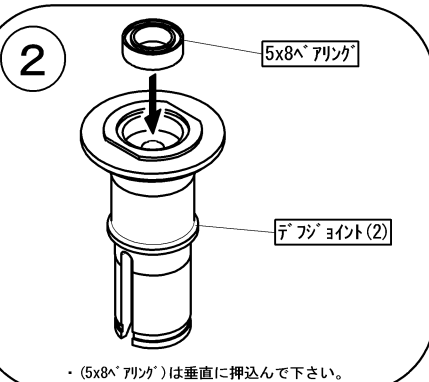
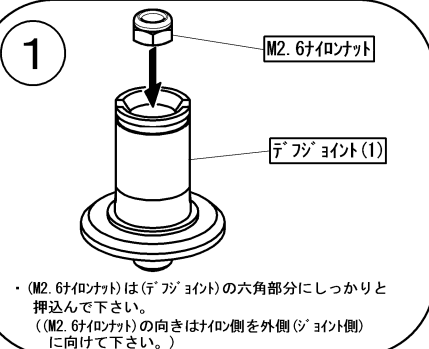


3 スパーギヤの組立て



4 リアボールデフの組立て

※ボールデフの組立てを始める前に、必ず注意をお読み下さい。

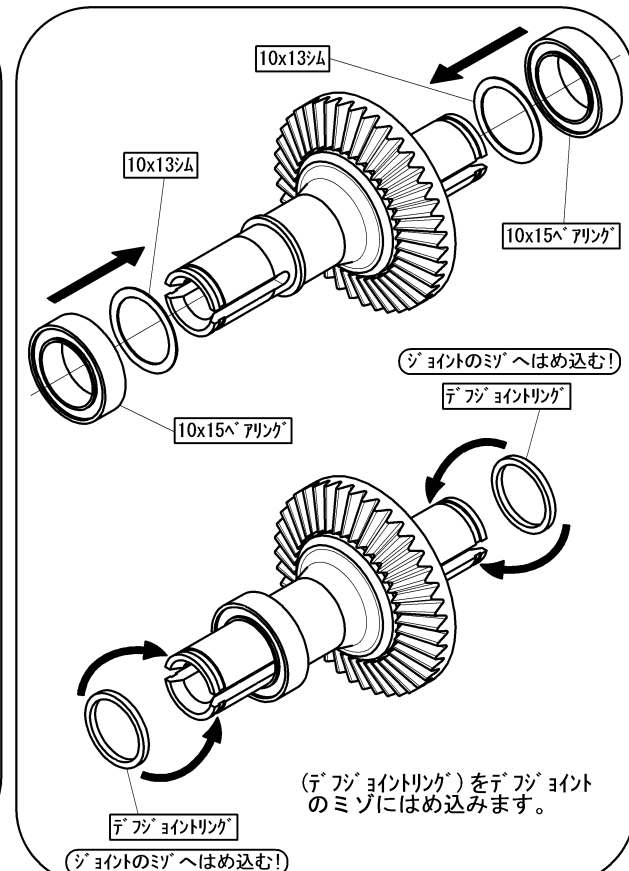


注意! ①(デフリング)、(デフボール)にはサビ止め用のオイルが付いています。そのまま組立てるとスベリの原因になりますので、クリーナー又はシンナーなどで脱脂を行うと、よりスムーズな差動を得る事ができます。

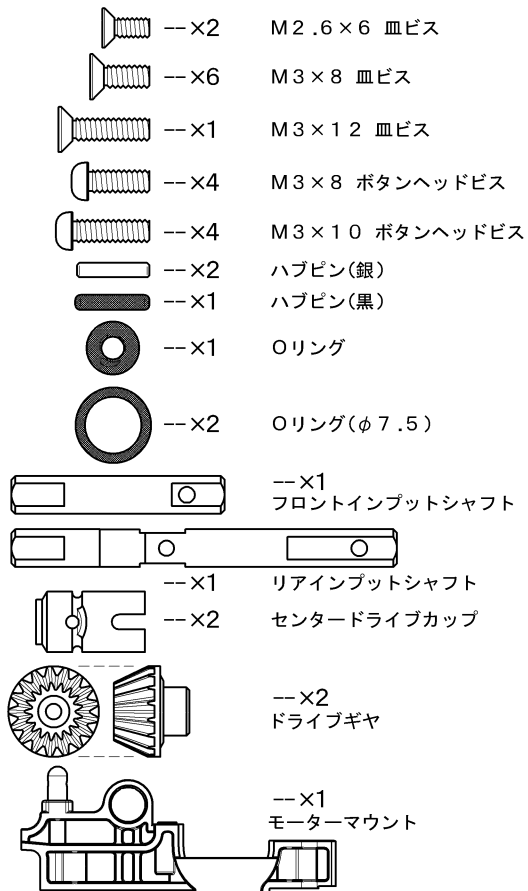
②(デフリング)には上下の向きがあります。必ず曇りがある面をデフジョイント側、光っている面をボール側に向けて組立てを行って下さい。

③(デフボール)には(デフルーブ)を、(スラストボール)には(ブラックグリス)を必ず充填して下さい。

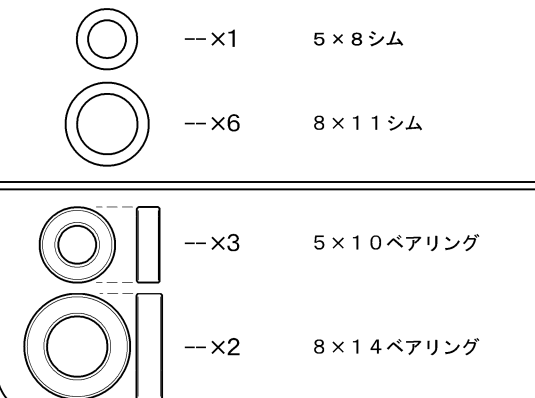
④(キャップスクリュー)を締込む目安は、図(A)の様に両方のジョイントにアレンキーを差込み、手でしっかりと固定した状態でリングギヤが回らないポイントまで少しずつ締め込む様にして下さい。
(この調整は目安ですので、実走行でスベリが出ないポイントまで、締め込んで下さい。)



【 袋③ の内容 】

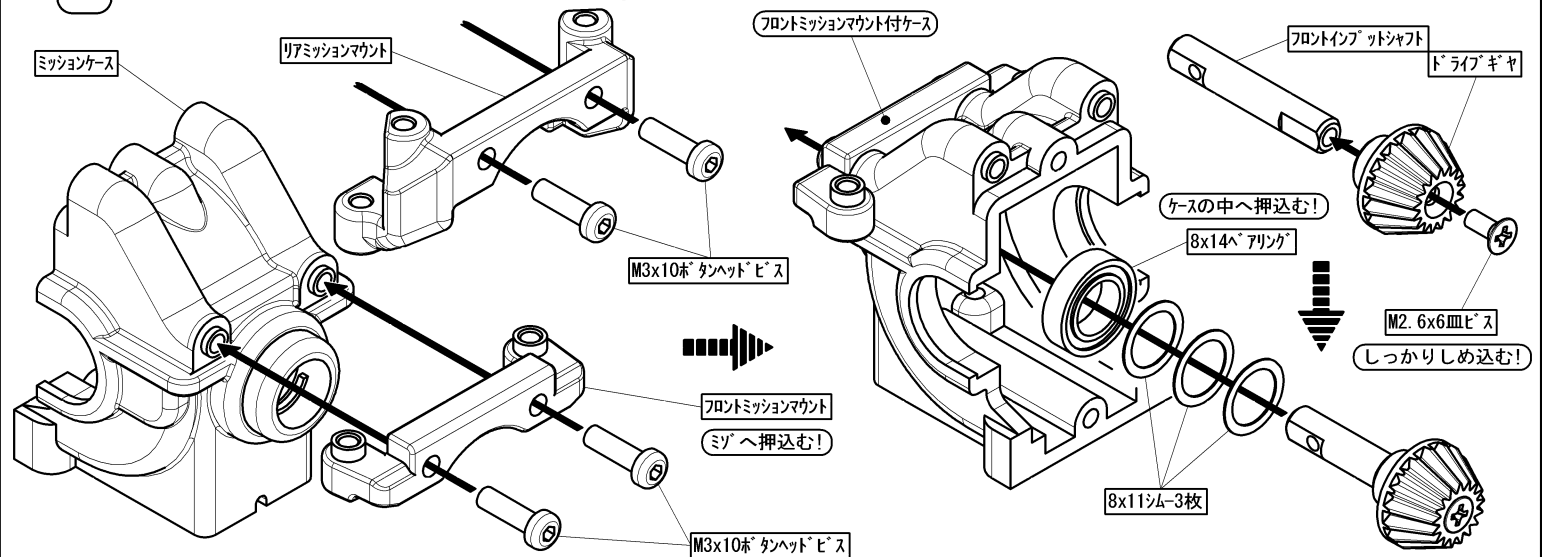


その他、ミッションケース類、シャーシプレース類

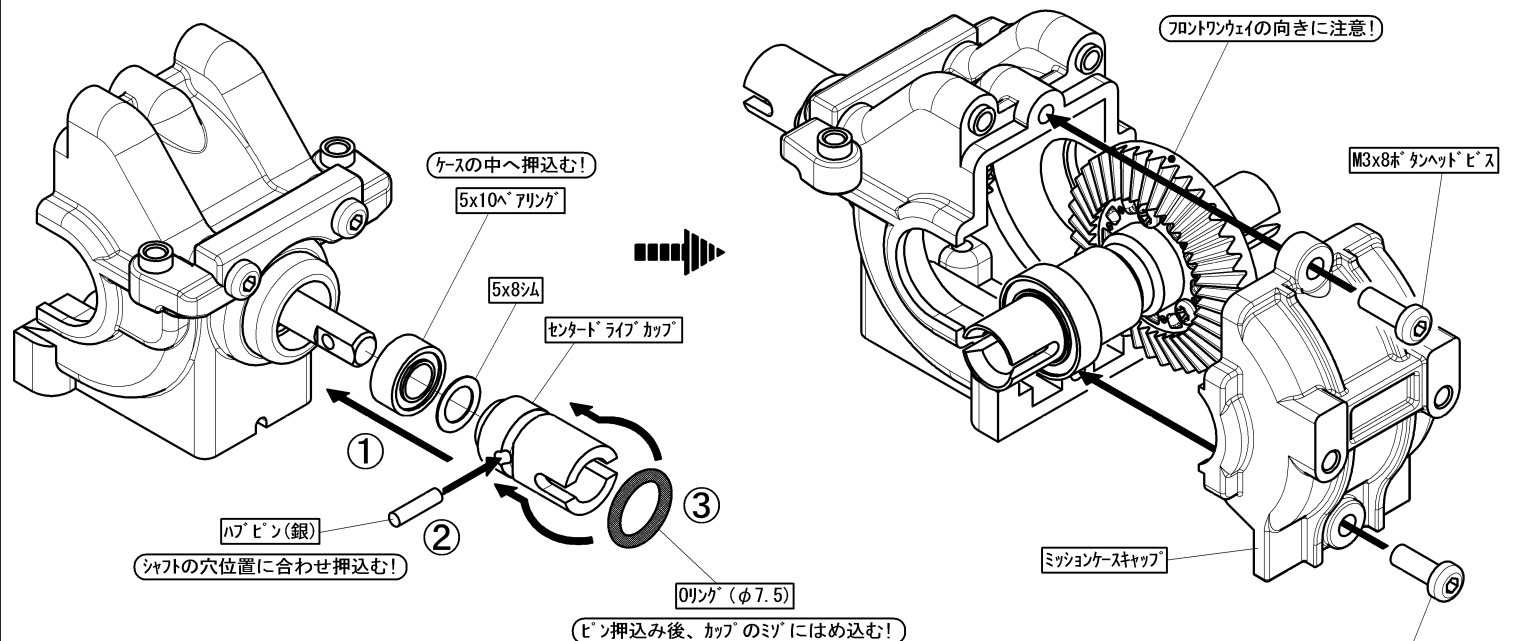


5 フロントミッションケースの組立て

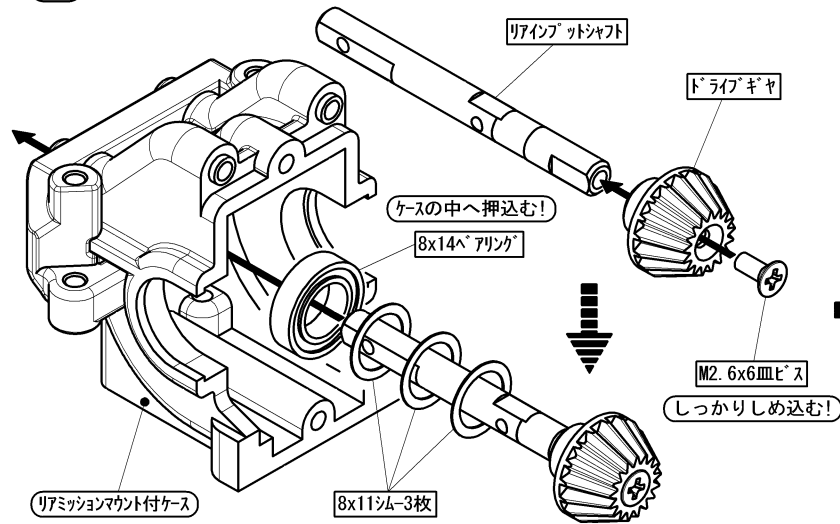
注意！－ (M2.6x6皿ビス) は、しっかりと締め込んで下さい。



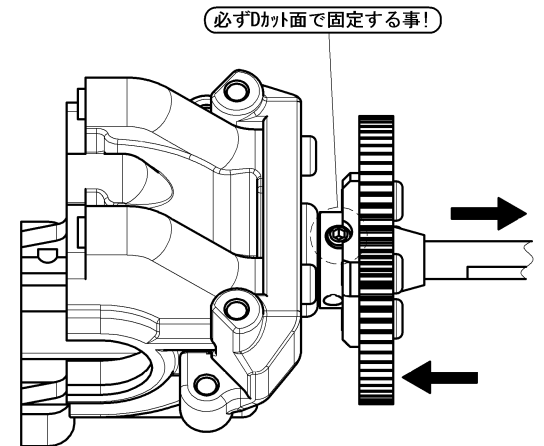
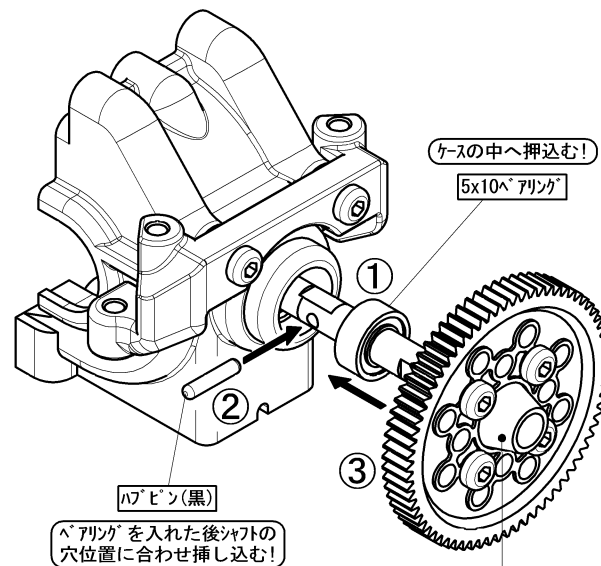
(ミッションケース)に(フロントミッションマウント)をはめ込み、(M3x10ボタンヘッドビス)で固定します。
同様に(リアミッションマウント)をはめ込んだ(ミッションケース)も作ります。(次ページ)で使用



6 リアミッションケースの組立て

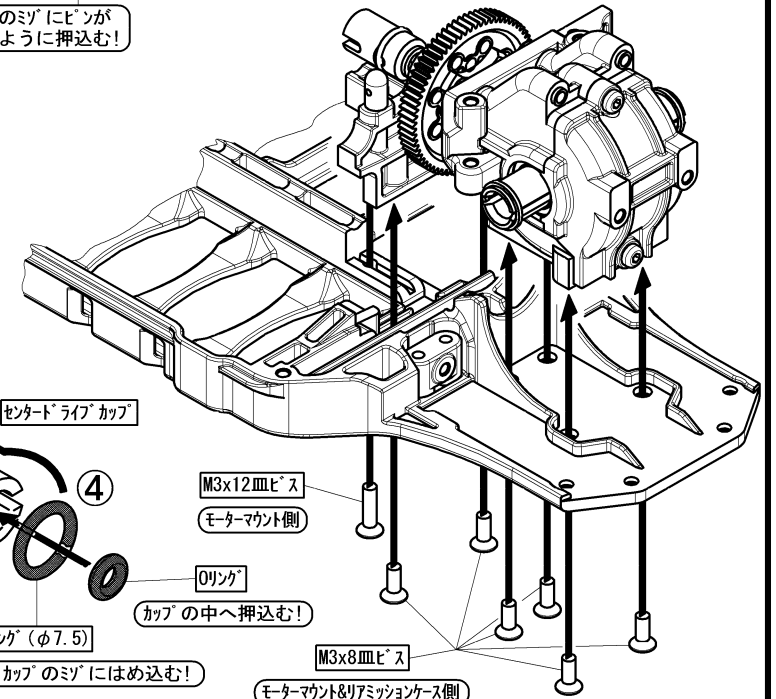
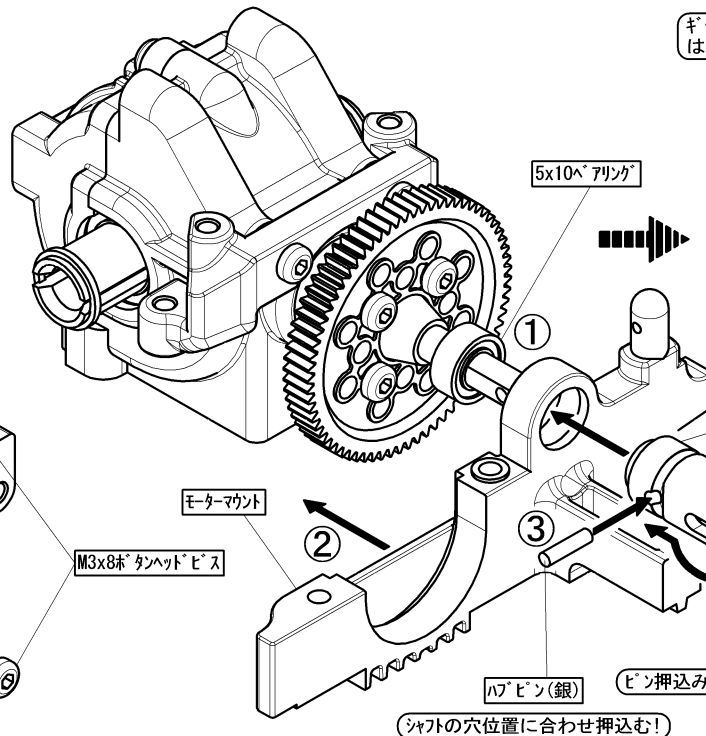
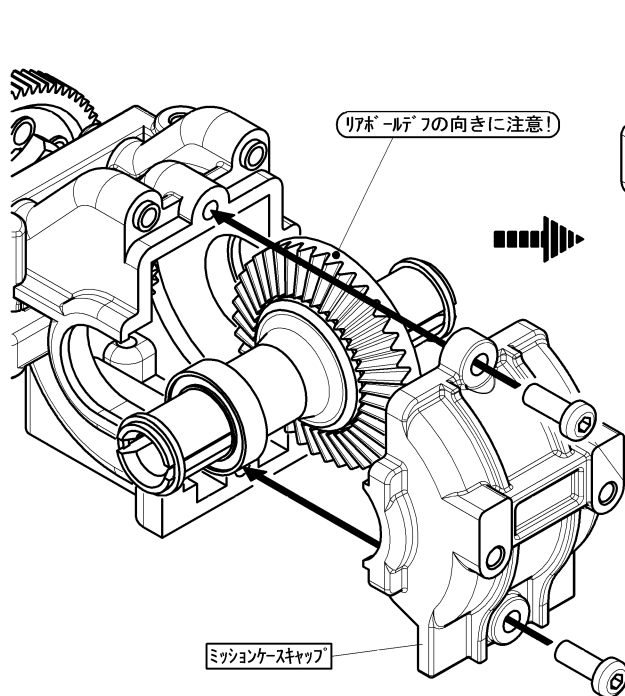


注意！①(M2.6x6mm ピス)は、しっかりと締め込んで下さい。



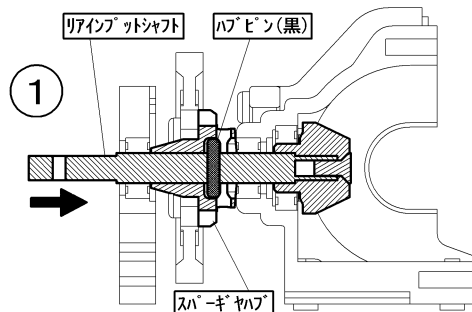
シャフトのDカット面にセットスクリューが当たるのを確認後、シャフトを引いた状態でスパーギヤをケース側に押し当てながら、セットスクリューをしめ込み固定して下さい。

注意！②(スパーギヤ)を固定する(セットスクリュー)は強くしめすぎない様に注意して下さい。(ゆるみ止めにロック剤などを使用して下さい。)

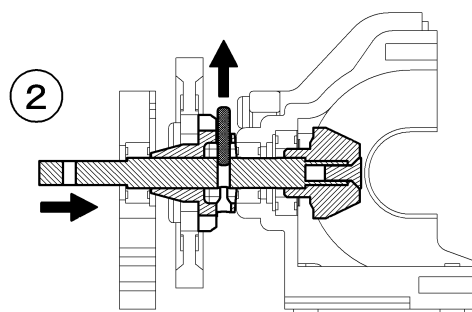


1 ポイントアドバイス!

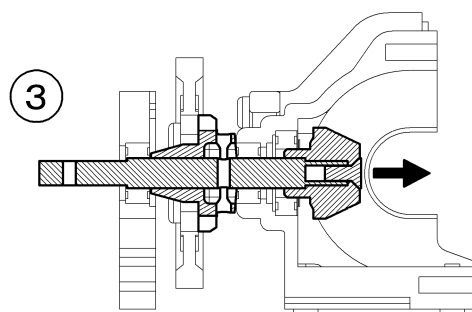
スパーギヤハブの取外し方



スパーギヤハブのセットスクリューをゆるめリヤインプットシャフトを後方へずらす。
(あらかじめセンタードライブカップを外しておいて下さい。)

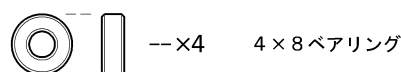
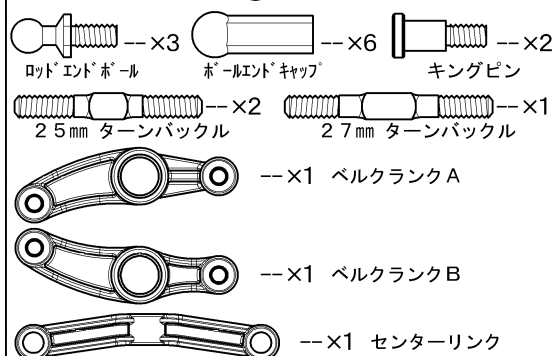


スパーギヤハブの穴からハブピンが見える位置までリヤインプットシャフトをつらしハブピンを抜く。
(ハブピンが抜けやすい場合は、薄くゴム系接着剤などを塗って下さい。)



リヤインプットシャフトを引き抜きスパーギヤハブを上から抜く。
(再組立時は逆の手順で行います。)

【袋④の内容】

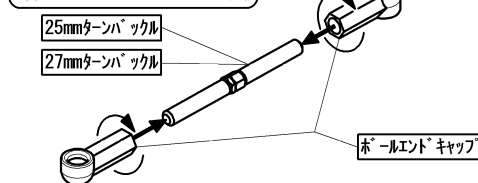


各タイロッドの組立て

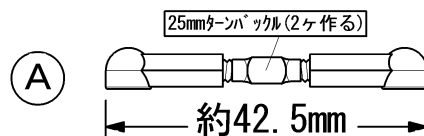
・各ターンバックルの両側から(ボールエンド)をねじ込みロッドを組立てます。



片側が逆斜になっています。

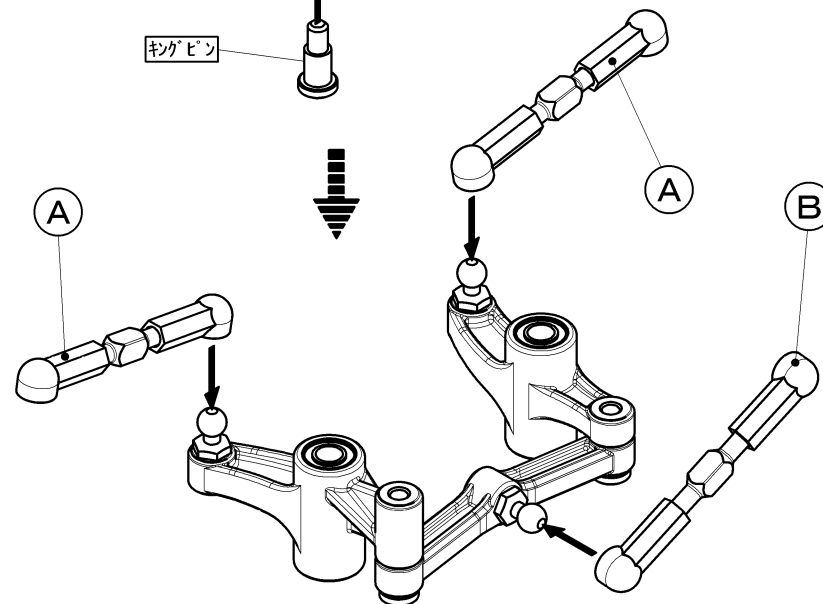
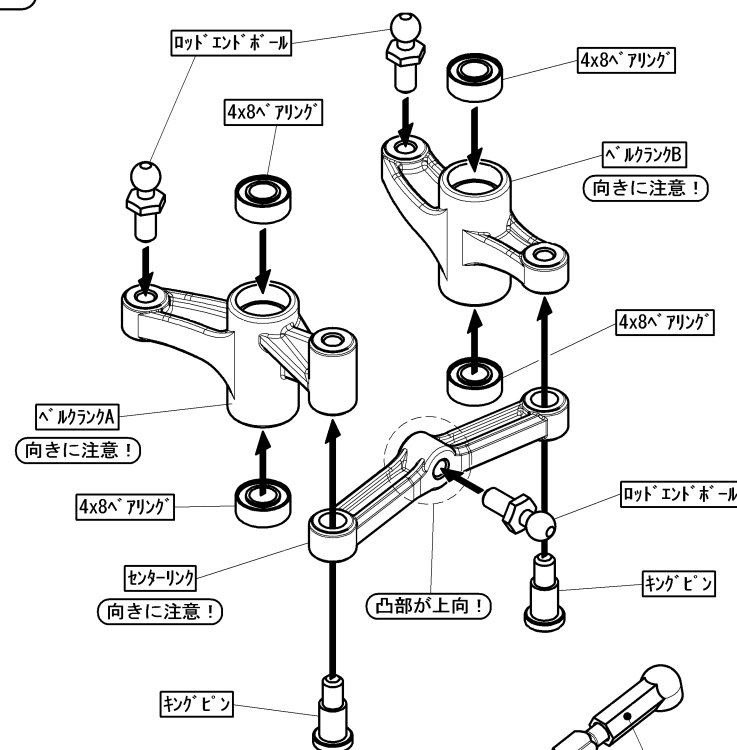


・各ロッド共、下記寸法で作成して下さい。



使用するサーボにより長さを調整します。

7 ベルクランクの組立て

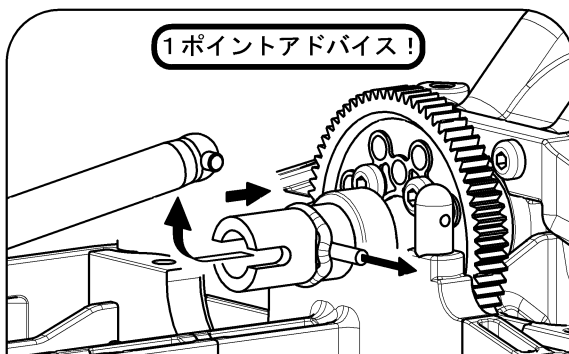


2種類の各ロッドを(ロッドエンドボール)にはめ込みます。
(はめ込む場所を間違えないように注意して下さい。
ターンバックルのネジ方向をそろえて取付ければ
後での長さ調整が簡単に行えます。)

【 袋⑤ の内容 】

- ×4 M3×8 皿ビス
- ×4 M3×8 ボタンヘッドビス
- ×4 M3×12 ボタンヘッドビス
- ×2 M3×22 ボタンヘッドビス
- ×1 メインドライブシャフト
- その他、アンテナパイプ1本

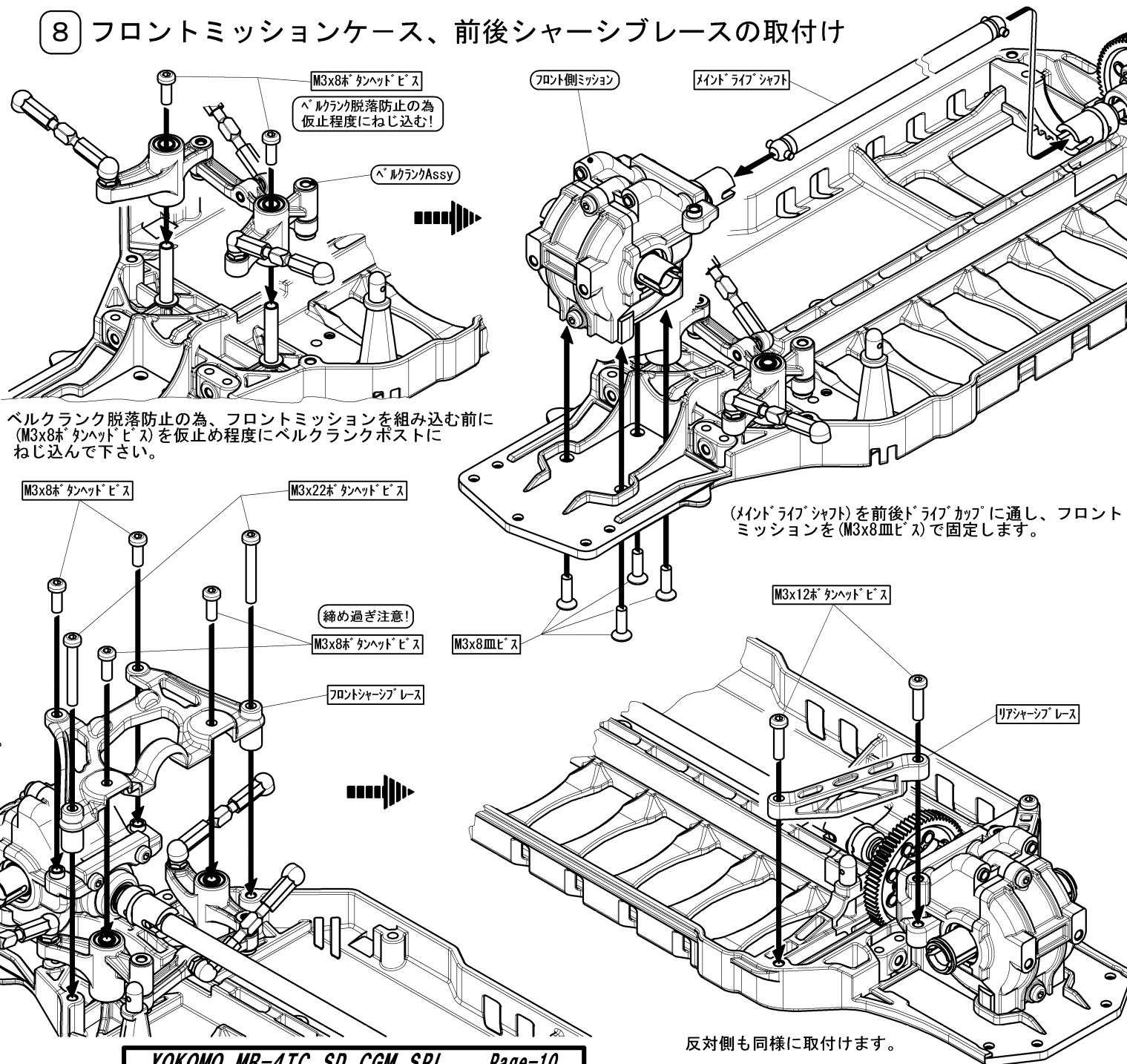
1ポイントアドバイス！



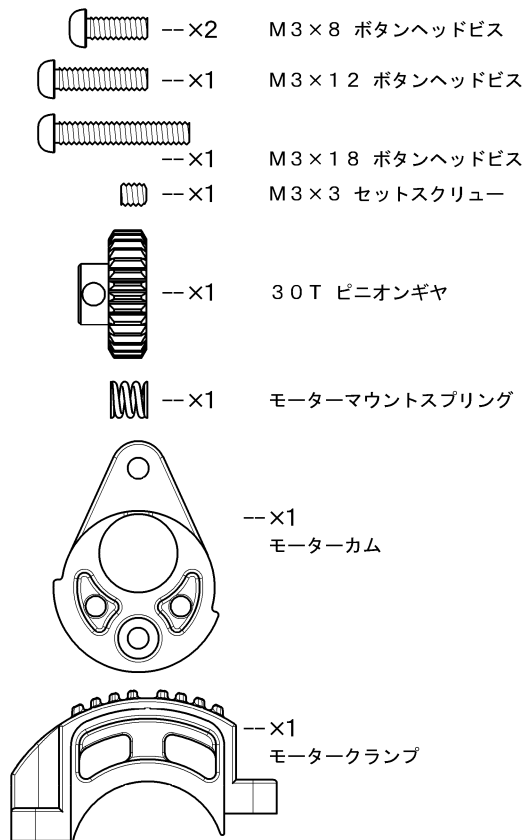
組立後、メインドライブシャフトを抜取る場合は、インプットシャフトからハブピン（銀）が抜けるまで外から押出し、センタードライブカップをズラスことで簡単に取る事ができます。

仮止めした(M3x8ボタンヘッドビス)を外し、(フロントシャーシブレース)を各ビスで固定します。

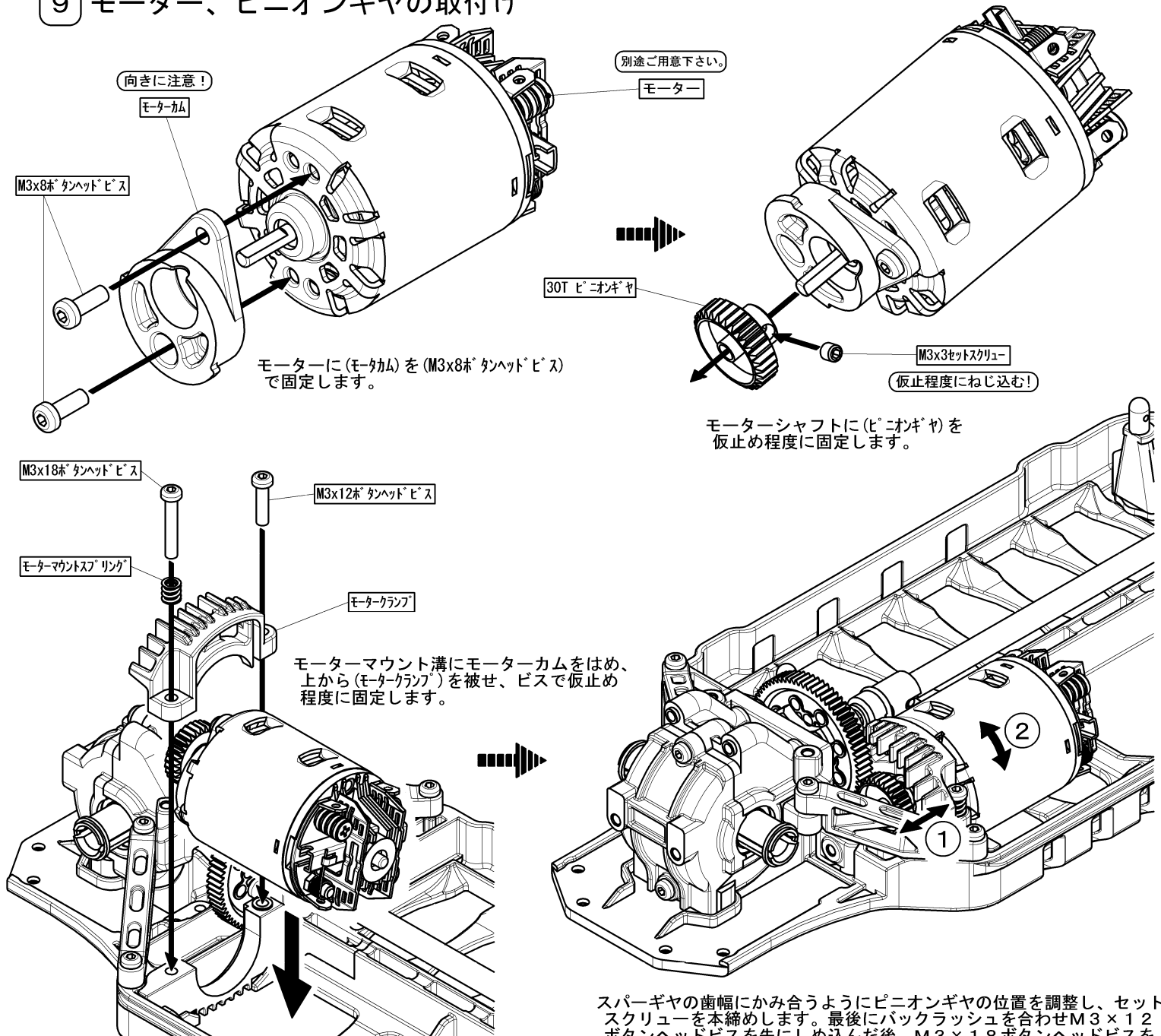
8 フロントミッションケース、前後シャーシブレースの取付け



【袋⑥の内容】



9 モーター、ピニオンギヤの取付け



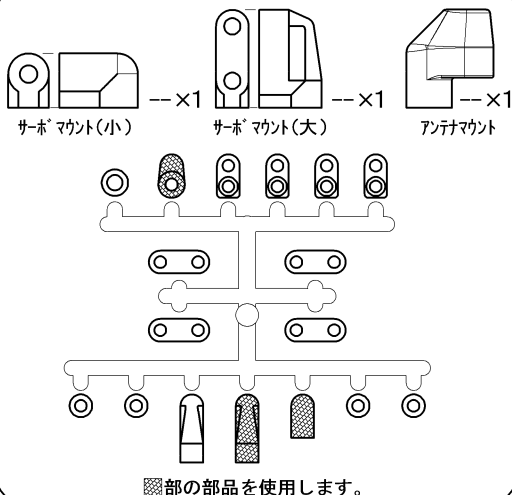
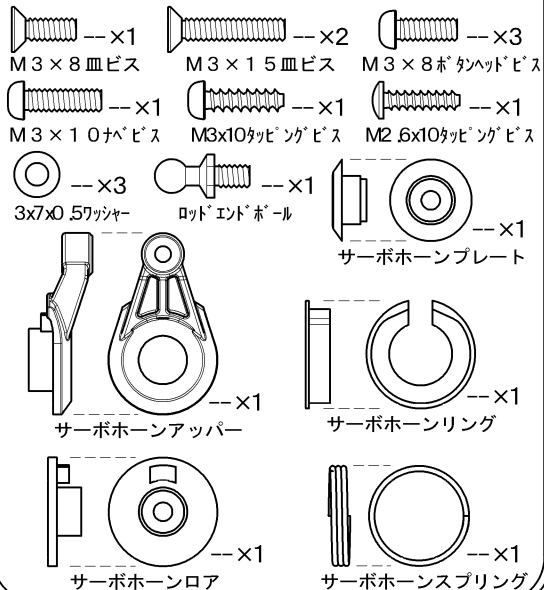
注意！①キットには、モーターは含まれておりませんので、別途ご用意下さい。

②ピニオンの取付けは、モーターシャフトの（Dカット）されている部分に、セットスクリューが当たる様にしっかりと締め込んで下さい。

③バックラッシュは少し隙間が出来る程度に調整して下さい。（調整不足は、ノイズ及びギヤ破損の原因になります。）

④連続走行はモーターに必要な以上の負荷を掛けるだけでなく寿命も短くなりますので、完全に冷えた事を確認してから走行をさせて下さい。

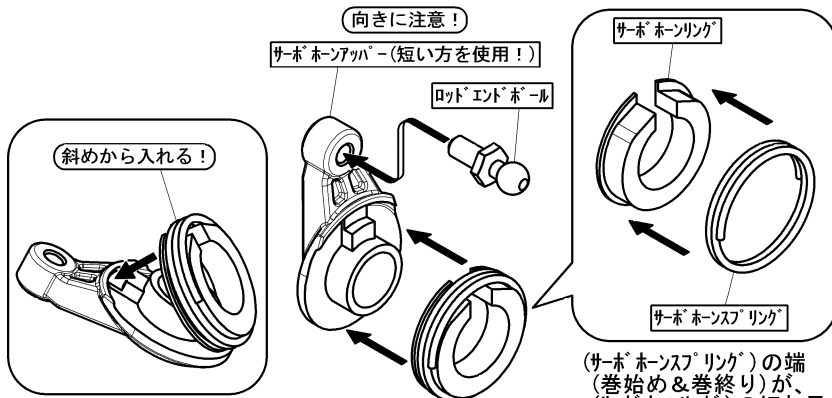
【袋⑦の内容】



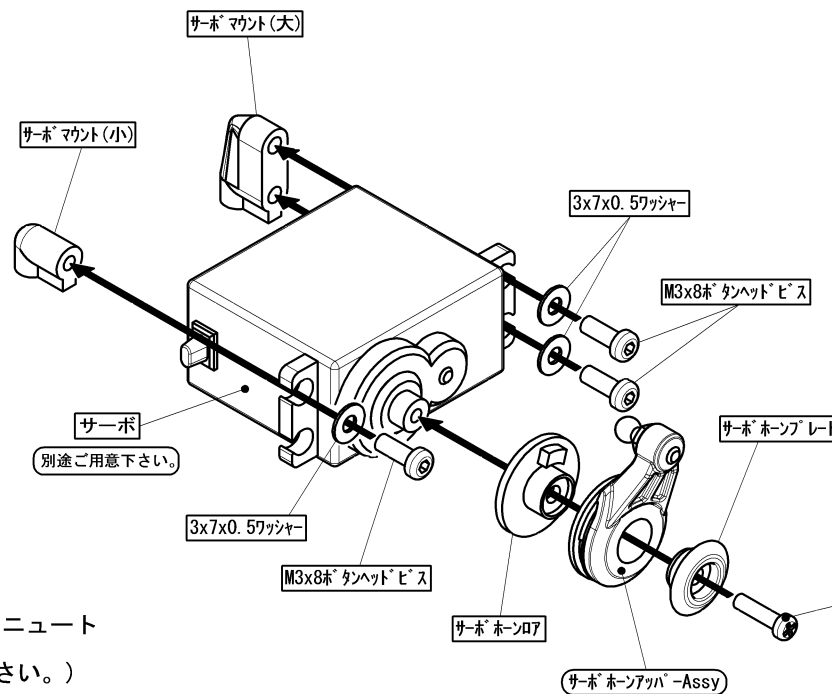
注意！②(サーボホーン)を取付ける前に必ず、サーボのニュートラルを出して下さい。
(詳しくはプロポセットの説明書をご覧ください。)

③キット付属の(サーボホーン)は3種類用意されています。
必ずご使用になるサーボ(メーカー)に合ったホーンをお使い下さい。
(形が合わないサーボホーンを使うとサーボに無理な力が掛かり、故障の原因になります。)

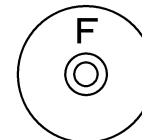
10 サーボセーバー、サーボの取付け



(サーボホーンアッパー)は2種類付属されていますが、全長の短い方を使用します。
(サーボホーンリング)のはめ込みが固い場合は、イラストの様に斜めから入れて下さい



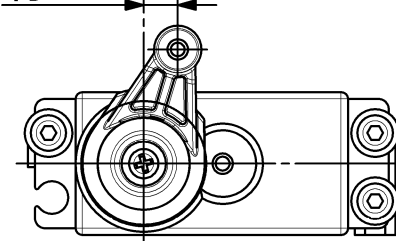
シャーンにサーボを取付けたら、Bロッドをロッドエンドボールにはめ込んで下さい。



刻印	メーカー
F	フタバ
H	ハイテック
J K S	J R, K O, サンワ

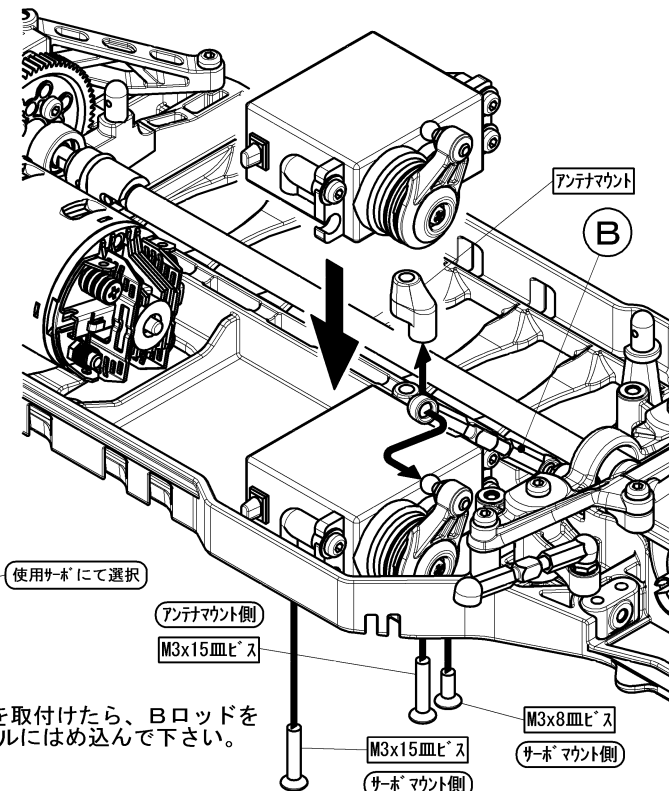
付属の(サーボホーン)には刻印が入っています。
ご使用になるメーカーに合わせてお選び下さい。

約5mm

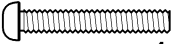
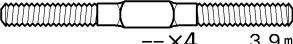
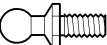
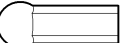


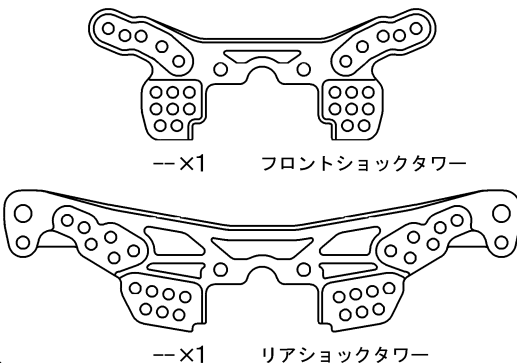
サーボのニュートラルを出した後、イラストのようにサーボホーンを約5mm(1山分)ずらして取付けて下さい。

注意！①サーボホーンを固定するビスは、使用するサーボに付属されているネジ部と同タイプのビスを使用して下さい。
(本キット付属のビスは、トラスM2.6x10タネヘッドビス、M3x10タネヘッドビス、M3x10ナットの3種類です。)



【袋⑧の内容】

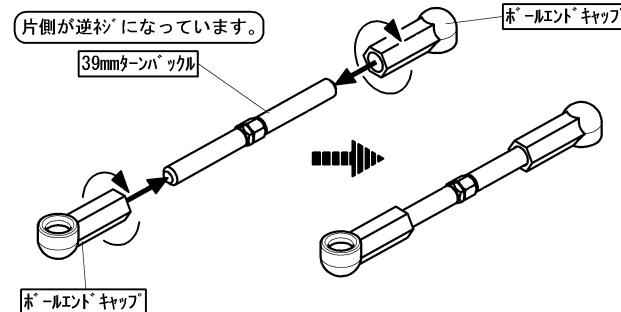
-  --x2 M3x8 ボタンヘッドビス
-  --x2 M3x10 ボタンヘッドビス
-  --x4 M3x20 ボタンヘッドビス
-  --x4 39mm ターンバックル
-  --x4 ロッドエンドボール
-  --x6 M3 平ナット
-  --x8 ボールエンドキャップ



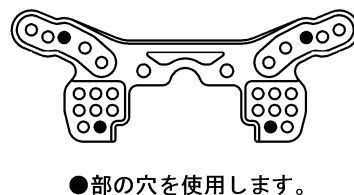
ロッドエンドボールをショックタワーに取付後、前後アッパーアームをはめ込んで下さい。
(ターンバックルのネジ方向をそろえて取付ければ後の長さ調整が簡単に行えます。)

注意！一前後ショックタワーには取付け向きがありますので注意して下さい。

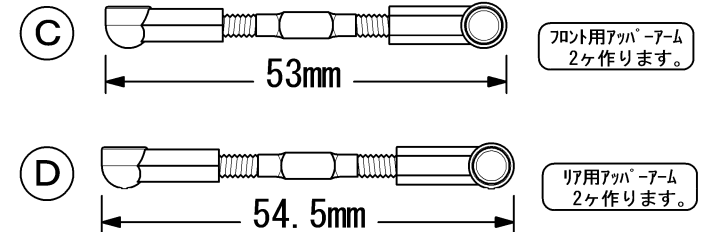
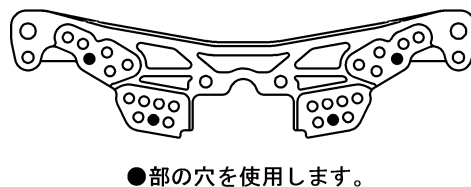
11 前後アッパーアームの組立て



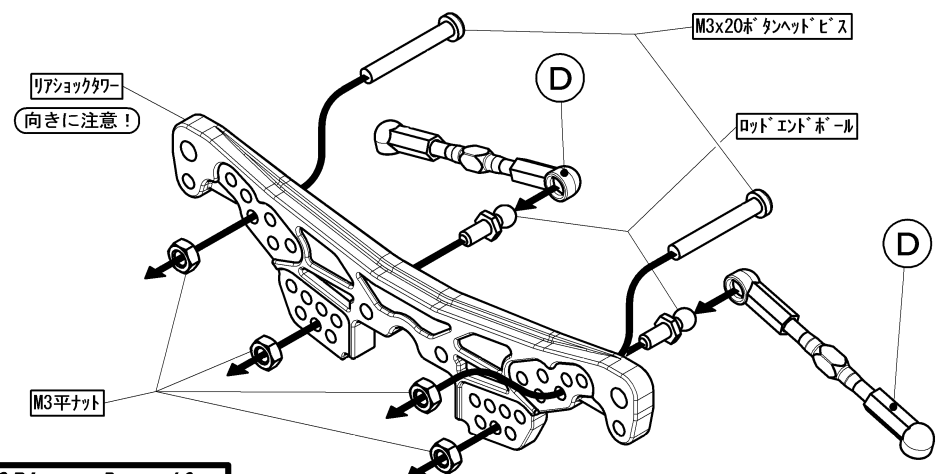
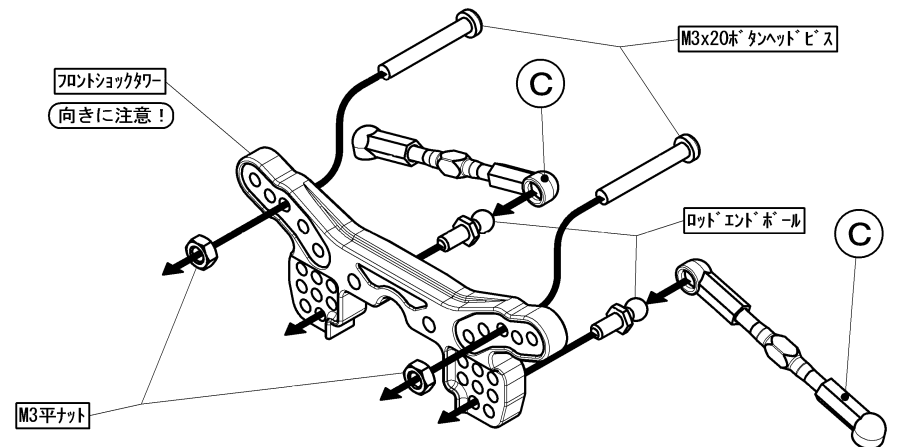
フロントショックタワーに取付け



リアショックタワーに取付け

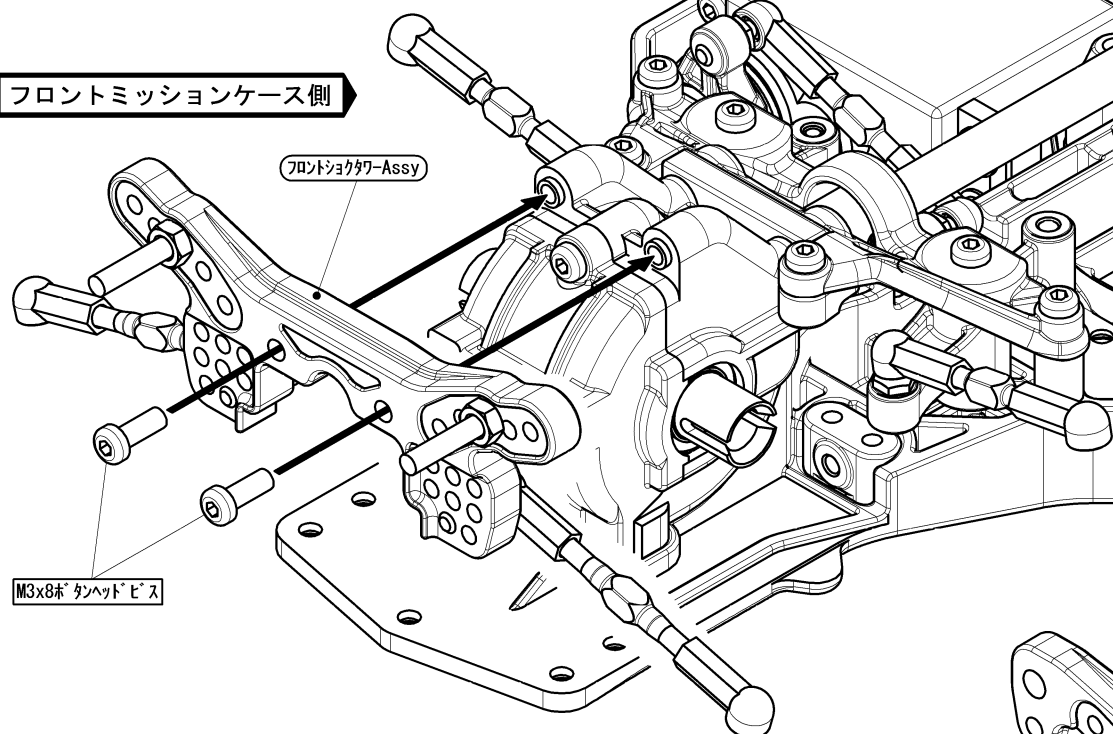


フロント用、リア用共ボールエンドキャップの向きは、取付時に調整して下さい。



12 前後ショックタワーの取付け

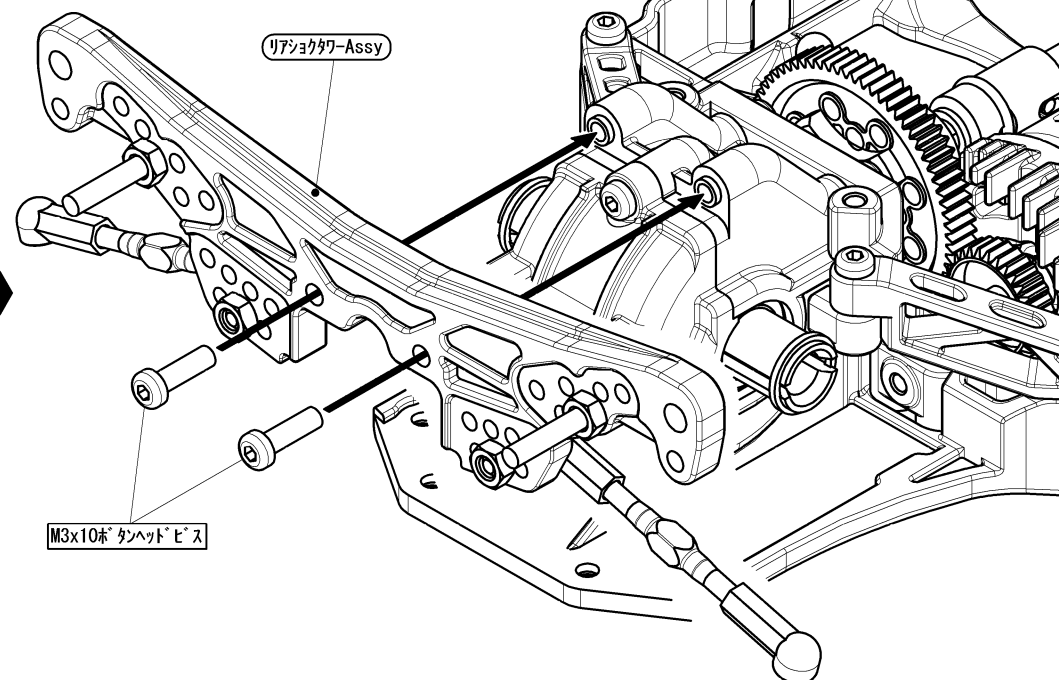
フロントミッションケース側



フロントショックタワー-Assy

M3x8mm タンヘッド ビス

リアミッションケース側

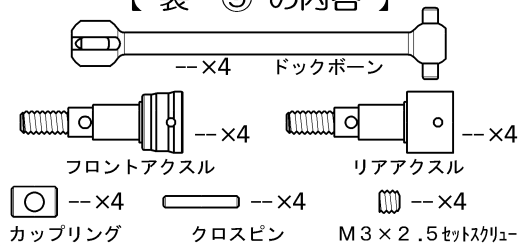


リアショックタワー-Assy

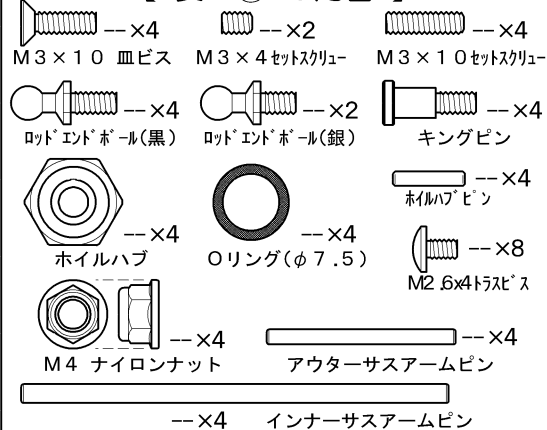
M3x10mm タンヘッド ビス

注意！ーフロントショックタワー、リアショックタワーを
取付ける時は、前後ミッションケースの凸部に
しっかりとめ込み指定のビスで固定して下さい。

【袋⑨の内容】



【袋⑩の内容】

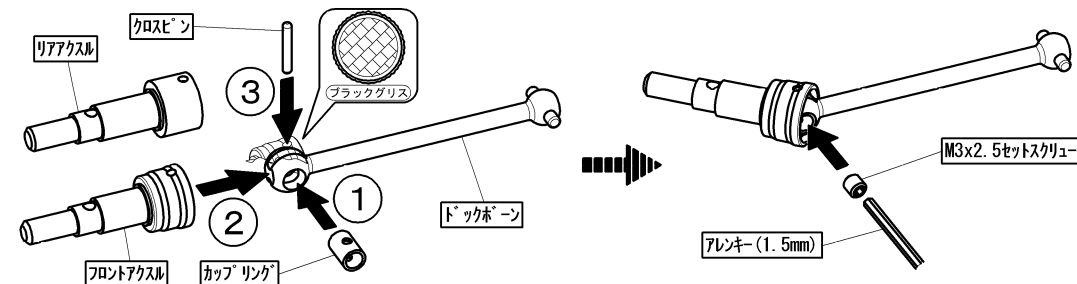


13 フロント&リアハブキャリアの組立て

ユニバーサルシャフトの組立て

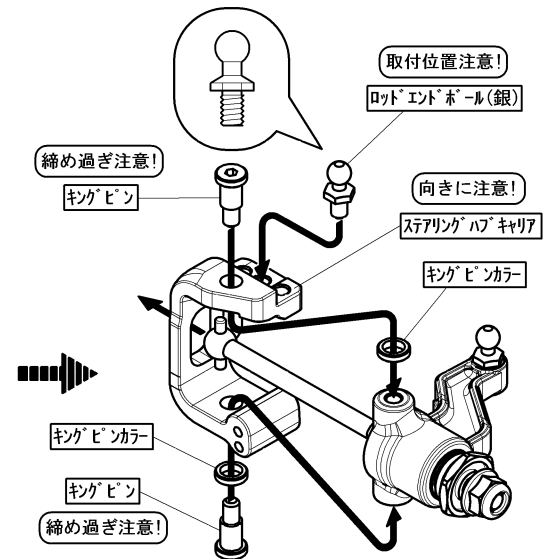
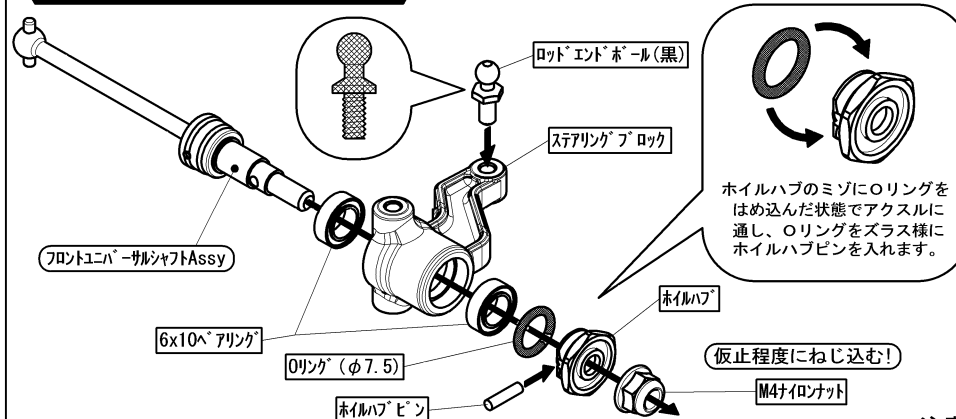
フロント用、リア用と同じように2セット作ります。

注意！①アクスルにドックボーンをはめる時は必ずブラックグリスを塗って下さい。



フロントハブキャリアの組立て

2セット作ります。(ステアリングハブキャリアには左右あり)

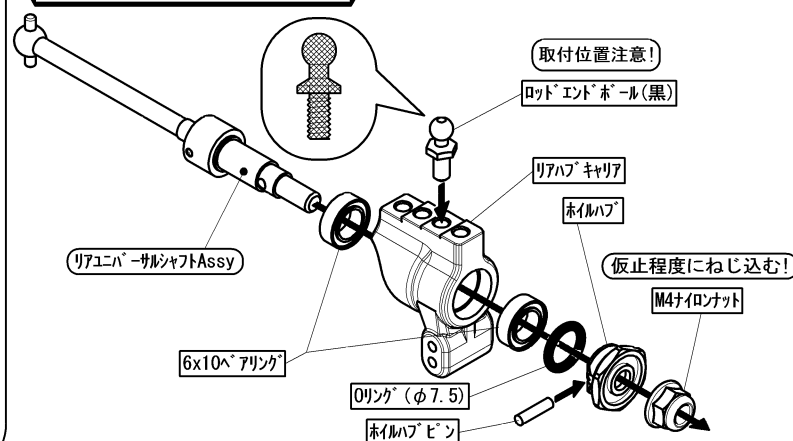


注意！②(ステアリングハブキャリア)は左右があります。

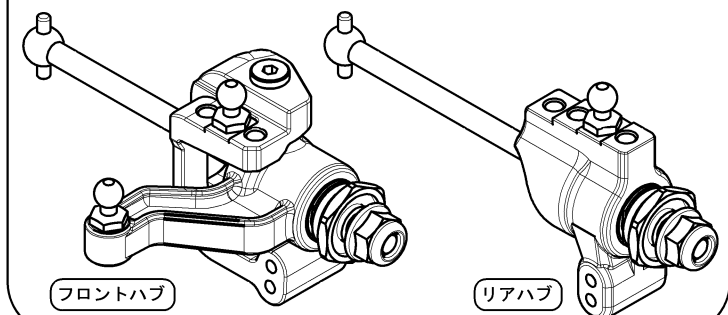
③(キングピン)上側を取付ける時は(キングピンカー)を押さず、押しつぶさない様注意して締め込んで下さい。(つぶれてしまうと動きが悪くなります。)

リアハブキャリアの組立て

2セット作ります。

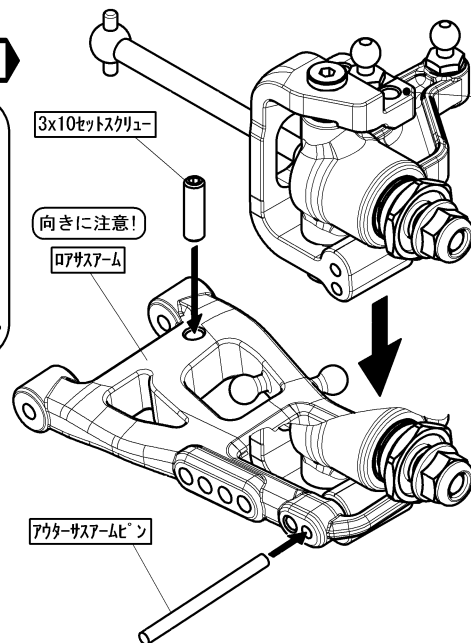
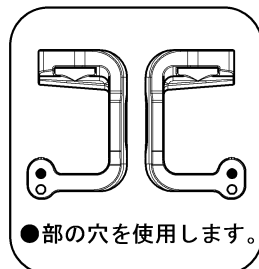


【反対側も対称に組立てます。】



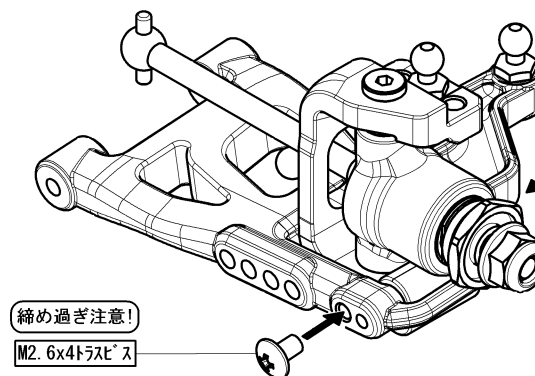
14 ロアサスアームの組立て

フロント側の組立て

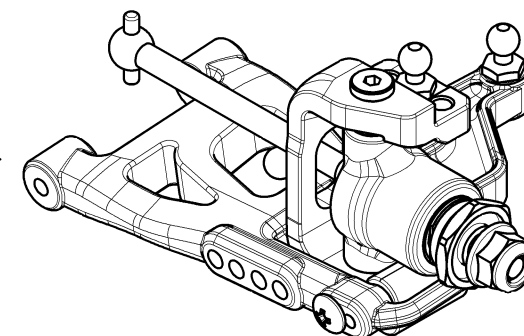


向きに注意!
フロントハブ キャリア Assy

締め過ぎ注意!
M2. 6x4トラストス



締め過ぎ注意!
M2. 6x4トラストス

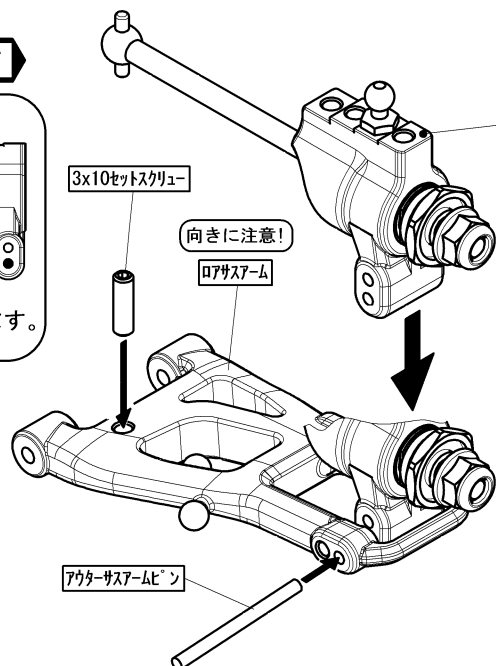
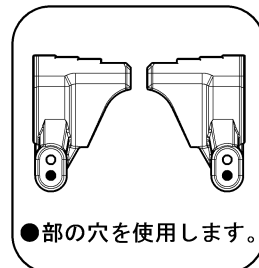


M3 x 10 セットスクリューはロアアーム
下側約 2mm 程度出るまで締め込んで下さい。

注意! - (M2. 6x4トラストス) をねじ込む時は、奥まで締めた後、
1/4 回転戻して下さい。
(締め込み過ぎるとアームの動きが渋くなります。)

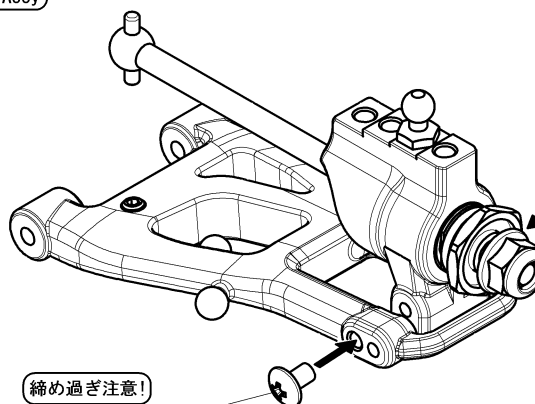
【 反対側も対称に組立てます。 】

リア側の組立て

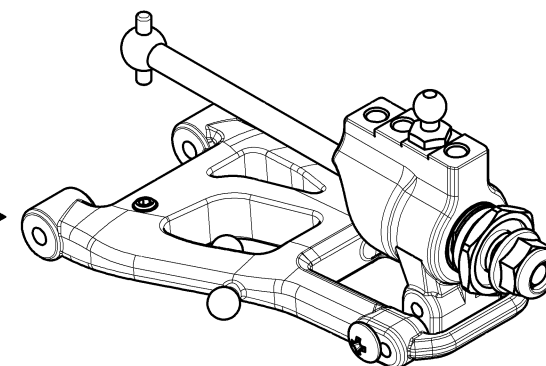


リアハブ キャリア Assy

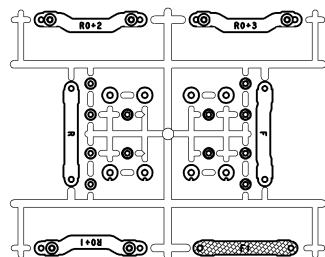
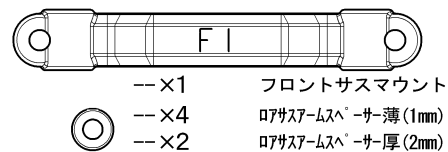
締め過ぎ注意!
M2. 6x4トラストス



締め過ぎ注意!
M2. 6x4トラストス



15 フロントロアササアームの取付け



■部の部品を使用します。

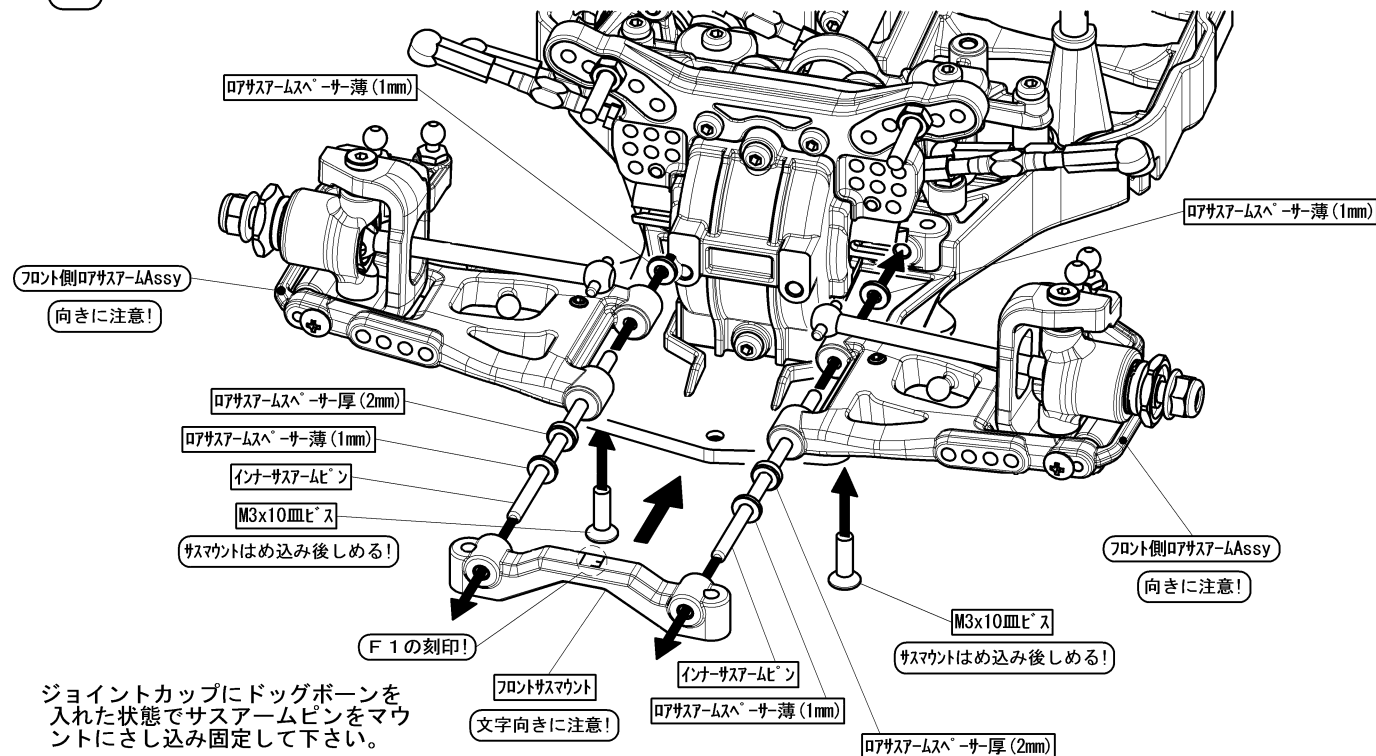
【取付け前にちょっと注目！】



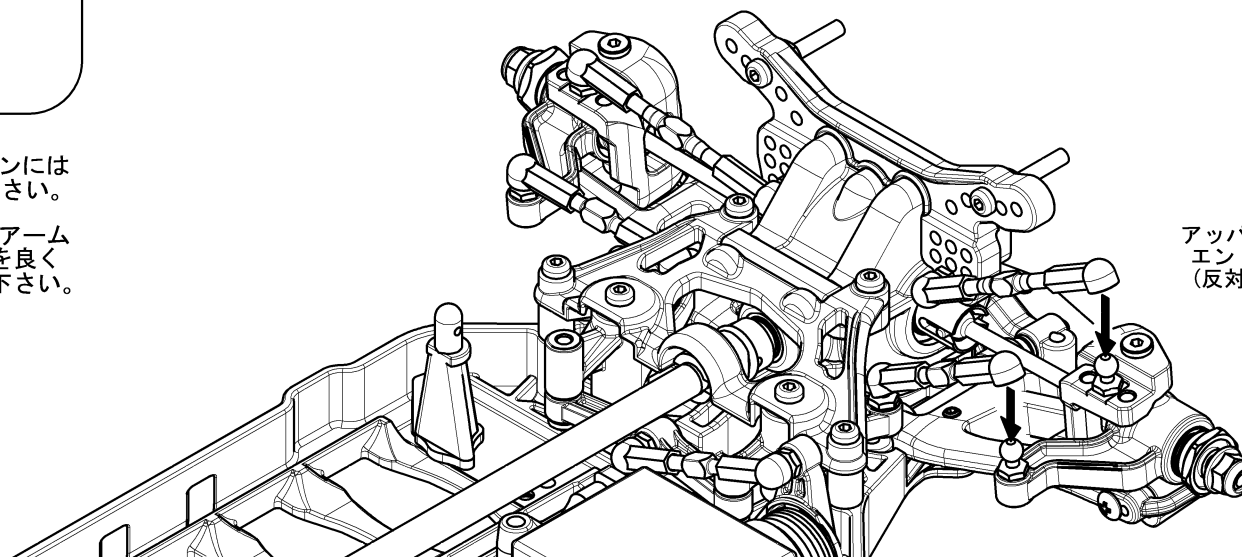
・ユニバーサルシャフトのピンには必ず
(ブラックグリス)を塗る事。

注意！①フロントユニバーサルシャフトのピンには
必ず(ブラックグリス)を塗る様にして下さい。

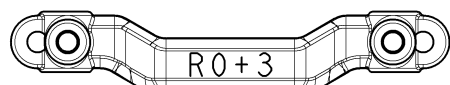
②前工程で組立てたフロントロアササアーム
には、左右の向きがあります。図を良く
参照し間違いの無い様に組立てて下さい。



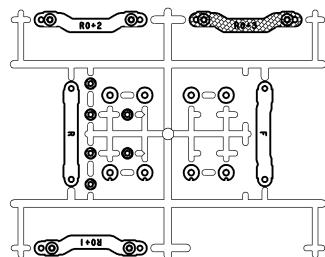
ジョイントカップにドッグボーンを
入れた状態でササアームピンをマウ
ントにさし込み固定して下さい。



アッパーアーム、タイロッドをボール
エンドにはめ込みます。
(反対側も同じ様にはめ込みます。)



- ×1 リアサスマウント
- ×4 ロアサームスベ-サー薄(1mm)
- ×2 ロアサームスベ-サー厚(2mm)



■部の部品を使用します。

マウントの刻印表示

マウントの刻印表示は以下のようになります。

F1 = フロント用スキッド 1度
 R0+1 = リア用トーイン 1度 } スキッド角0度
 R0+2 = リア用トーイン 2度
 R0+3 = リア用トーイン 3度

他2種類のスペーサーは以下のようになります。

キリ欠きなし = 高さ調整用 1mm厚(1枚)
 キリ欠きあり = スキッド角調整用 1度(1枚)

【取付け前にちょっと注目！】



デフループは使用不可！
 (白色のグリス)



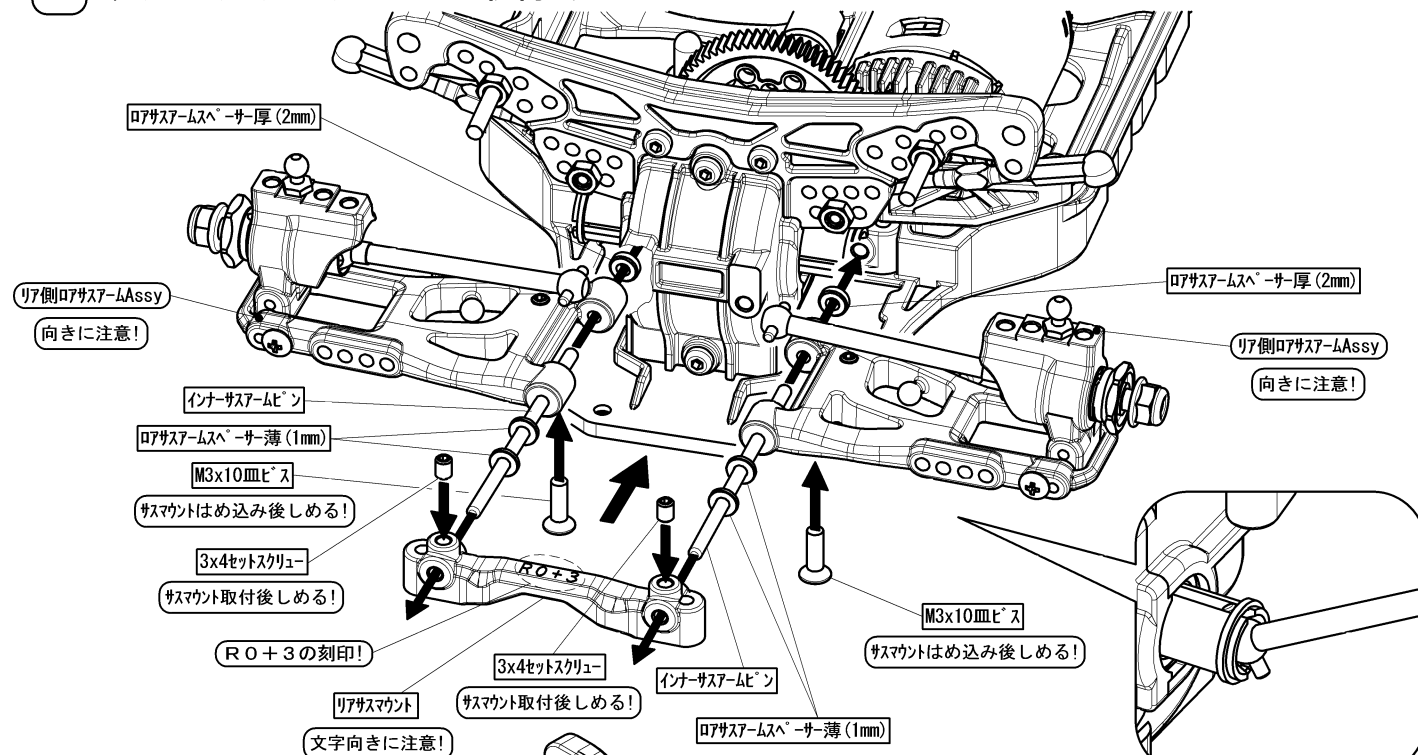
ブラックグリス
 (黒色のグリス)

・ユニバーサルシャフトのピンには必ず
 (ブラックグリス)を塗る事。

注意！①リアユニバーサルシャフトのピンには
 必ず(ブラックグリス)を塗る様にして下さい。

②前工程で組立てたリアロアサスアームには
 左右の向きがあります。図を良く参照し
 間違いの無い様に組立てて下さい。

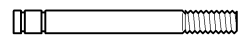
16 リアロアサスアームの取付け



ジョイントカップにドッグボーンを
 入れた状態でサスアームピンをマウ
 ントにさし込み固定して下さい。

アッパーアームをボールエンドに
 はめ込みます。
 (反対側も同じ様にはめ込みます。)

【 袋-⑪ の内容 】



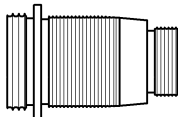
--×4 ショックシャフト



----×8 2mm Eリング



--×4 ショックスプリング



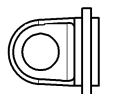
--×4 ショックシリンダー



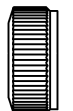
----×4 Oリングキャップ



----×4 Oリング(透明)



----×4 キャップエンド



----×4 キャップナット

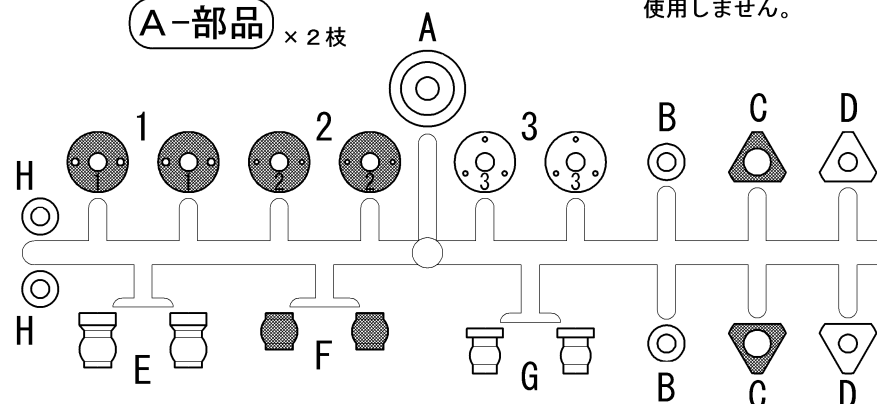


----×4 ダイヤフラム



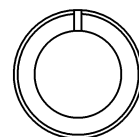
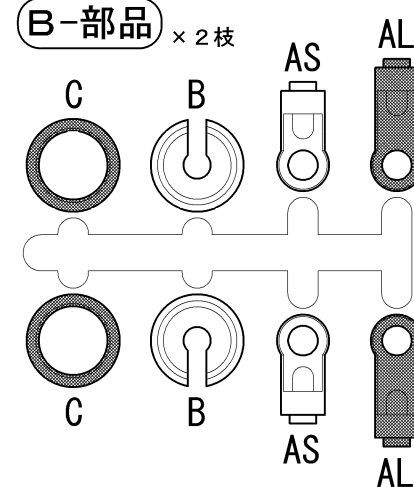
----×4 インナースポンジ

A-部品 × 2 枝

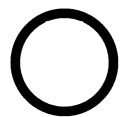


部の部品は
使用しません。

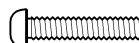
B-部品 × 2 枝



----×4 アジャストナット



----×4 Oリング(φ12)



----×4 M3×15 ボタンヘッドビス

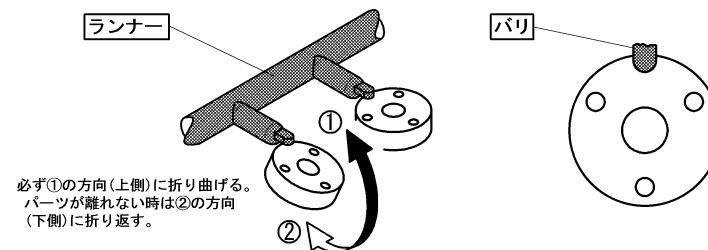


----×4 M3ナイロンナット

その他、ショックオイル 1ヶ

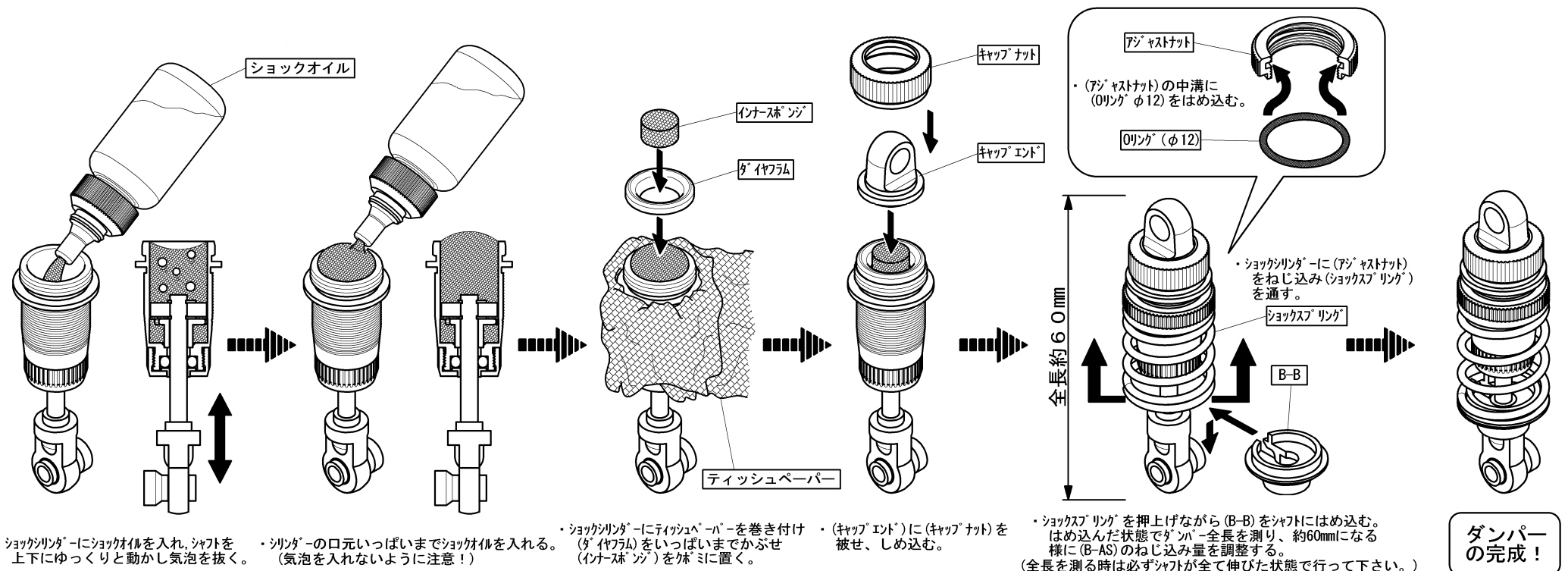
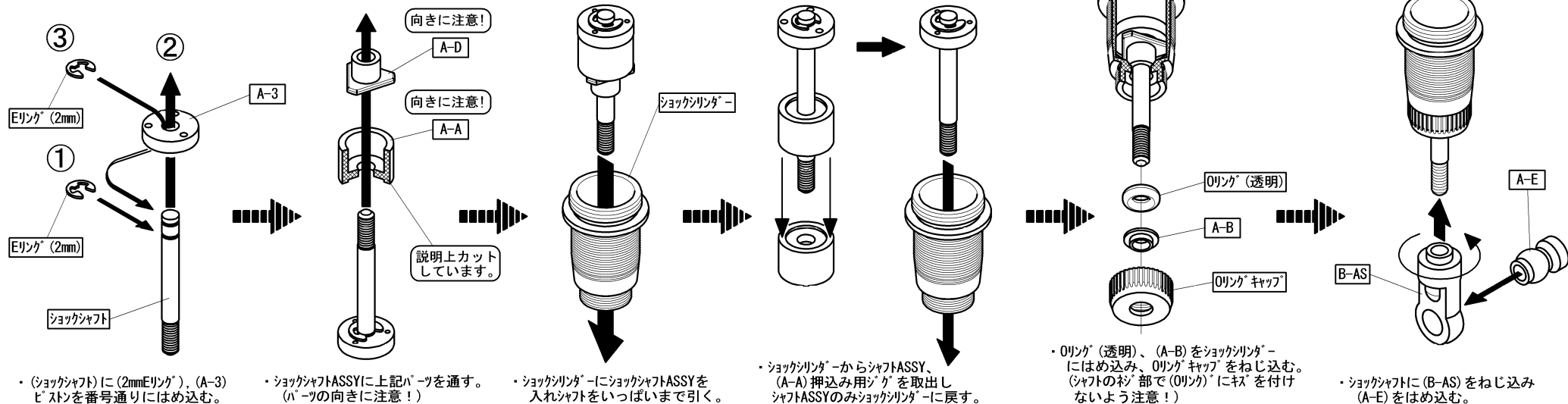
注意！①ダンパーは非常に多くのパーツ類から構成されています。
組立てる際には、間違えないよう注意して下さい。

【ランナーから使用するパーツを切り離す】 【バリはカッターで切り落とす】



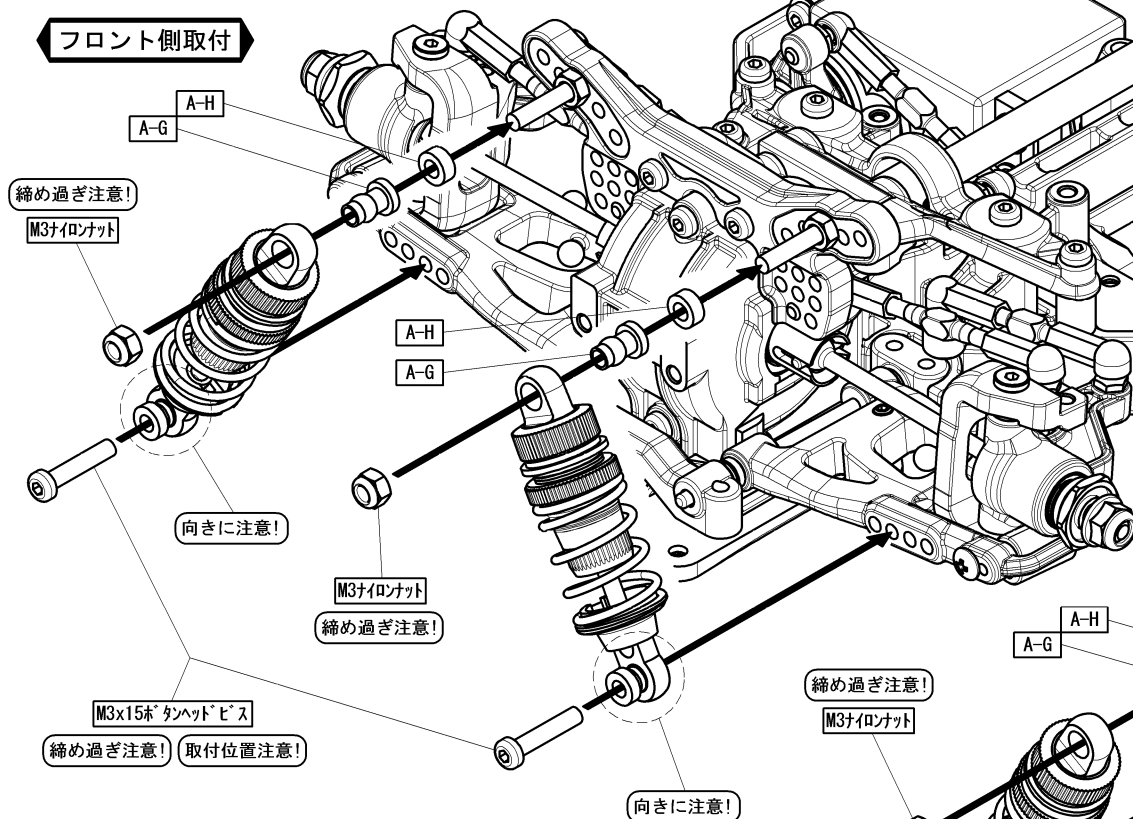
注意！②ランナーからパーツを切り離す際は、図の様に
折り曲げ、もしくはニッパーなどで切り離し
て下さい。なお、パーツにバリなどが残って
しまった場合は、カッターなどで丁寧に切り
落として下さい。

17 ダンパーの組立て(4本作ります。)



18 前後ダンパーの取付け

フロント側取付



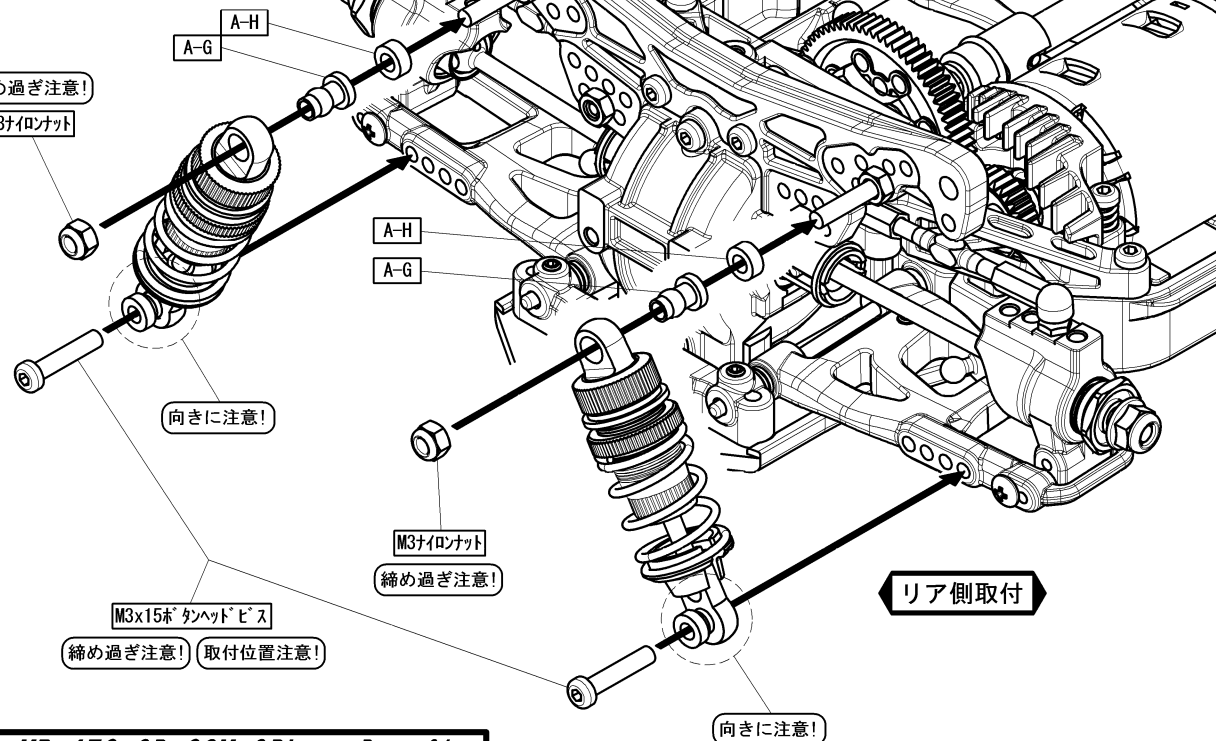
注意！一前後ダンパーを固定するナベビス、ナイロンナットは軽く締まる程度に締めて下さい。
(締めすぎると樹脂のボールが潰れ、動きが悪くなります。)

【このページの使用パーツ】

-  —×4 M3×15 ボタンヘッドビス
-  —×4 M3ナイロンナット

【A-部品】

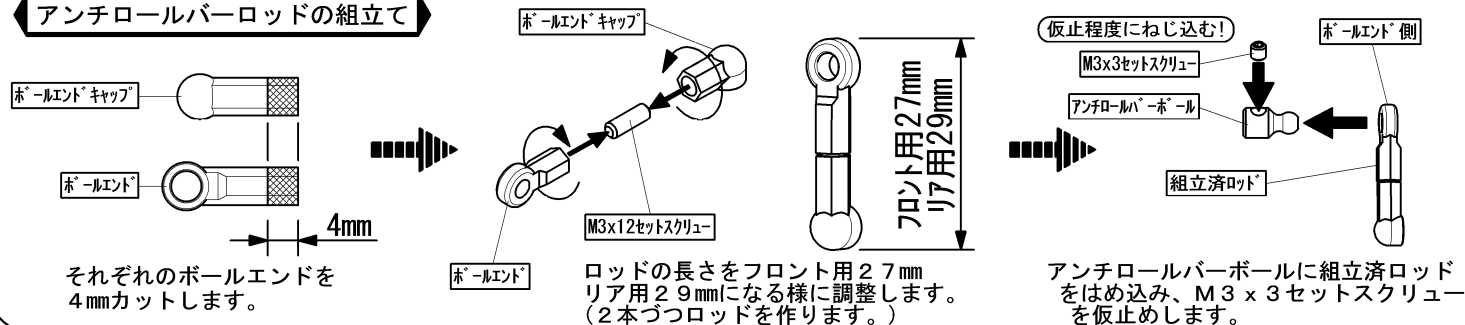
-  A-G×4 ショック用アッパースポール
-  A-H×4 スパースー



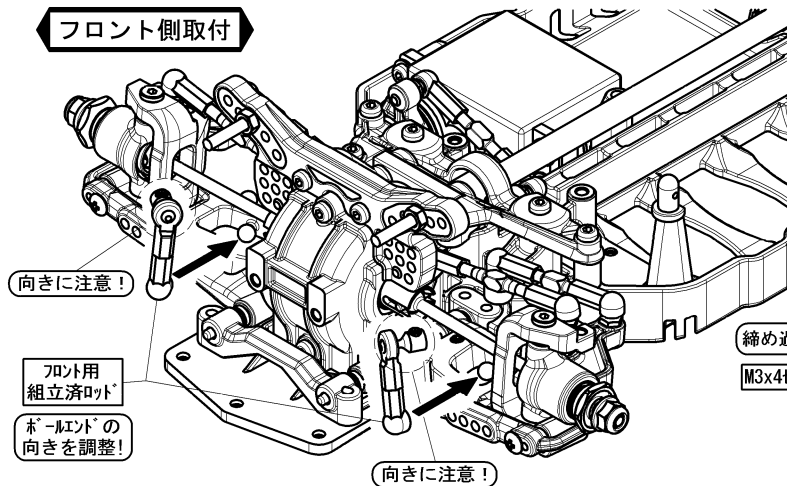
リア側取付

19 前後アンチロールバーの取付け

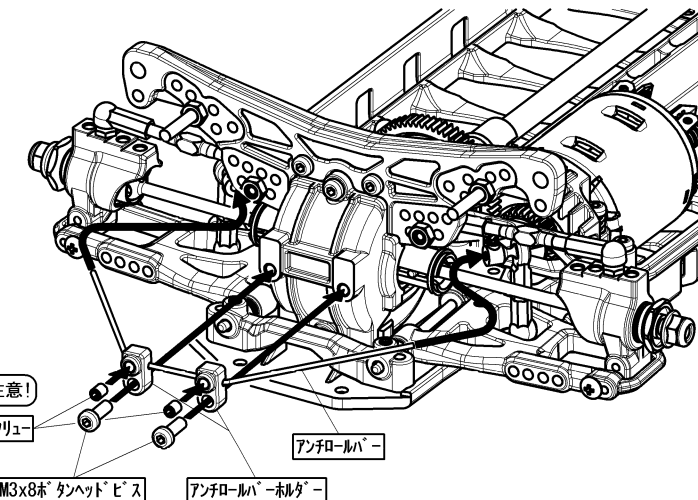
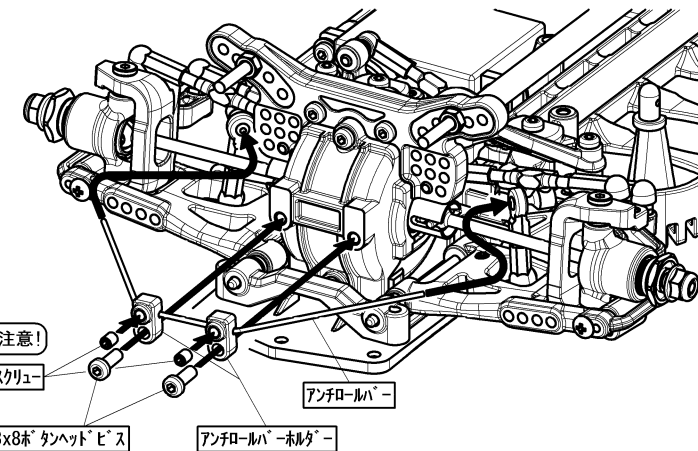
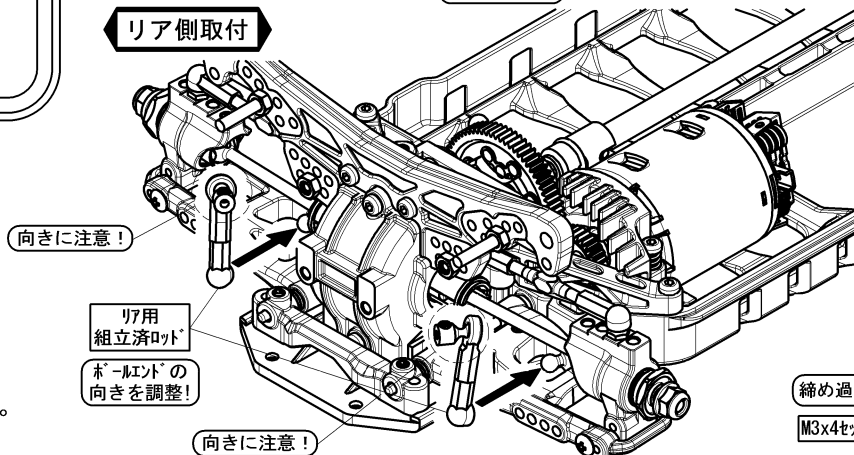
- ## アンチロールバーロッドの組立て



フロント側取付



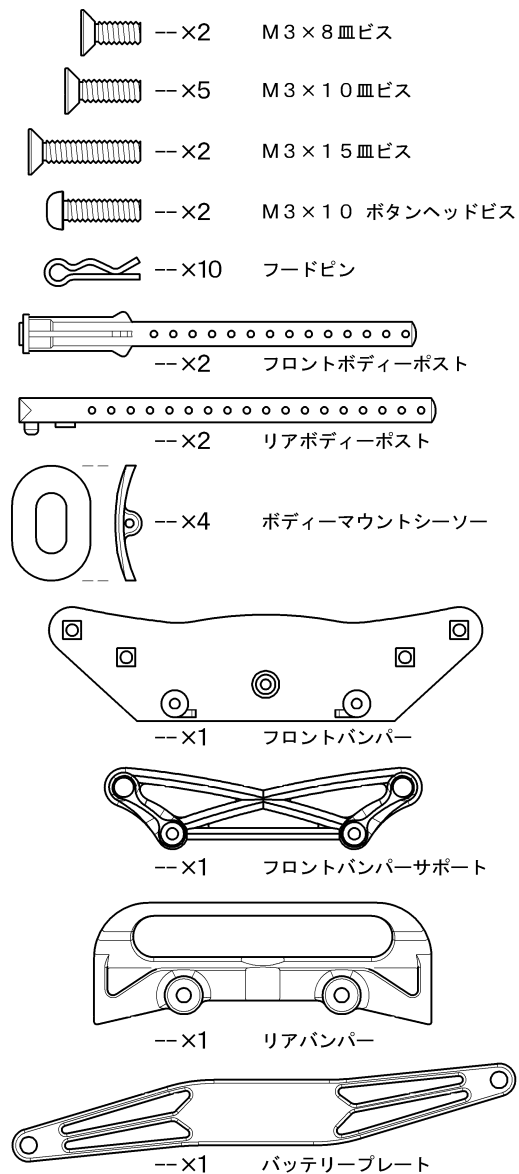
リア側取付



前後ロアアームのボール部に組立済ロッドをはめ込み、ボールエンドの向きを調整します。アンチロールバーをアンチロールバーボールに通し、アンチロールバーホルダーをミッションケースキャップに固定します。ホルダーにM3×4セットスクリューをロールバーにガタが出ない程度ねじ込み、ロールバーボールのセットスクリューをねじ込み、ロールバーを固定させます。

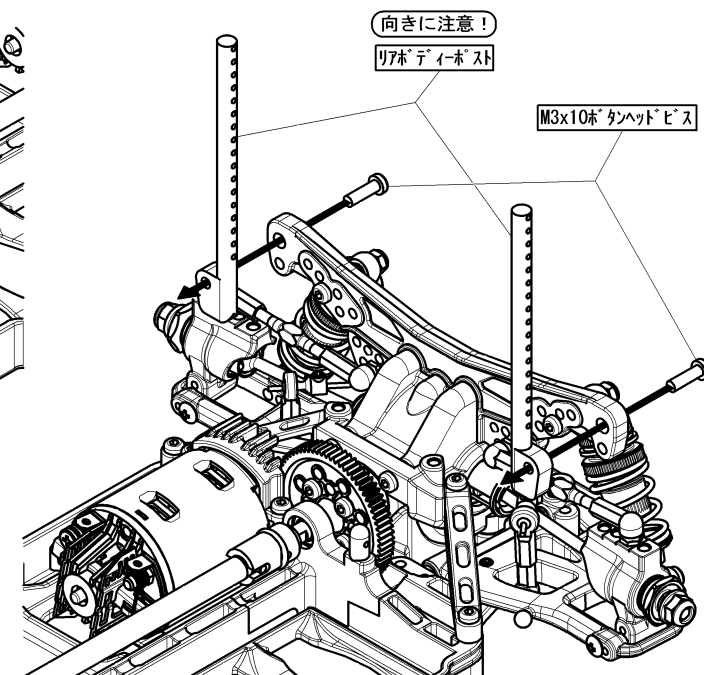
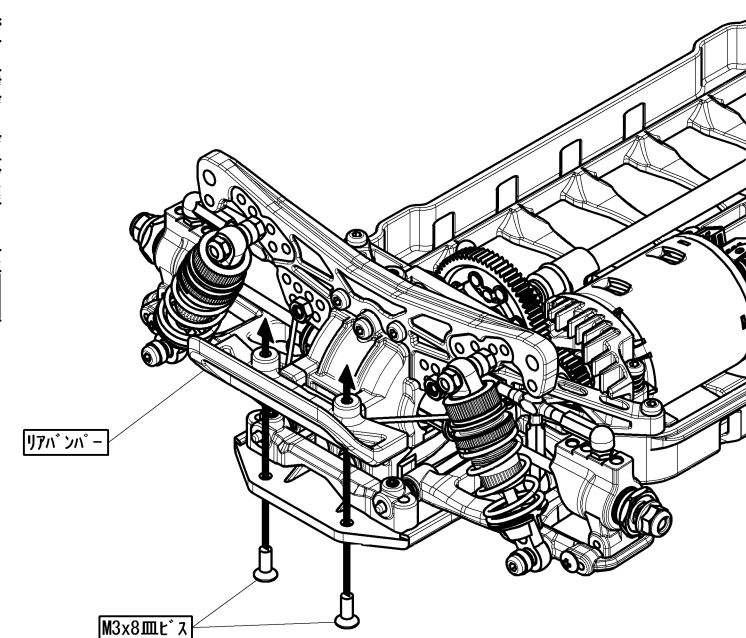
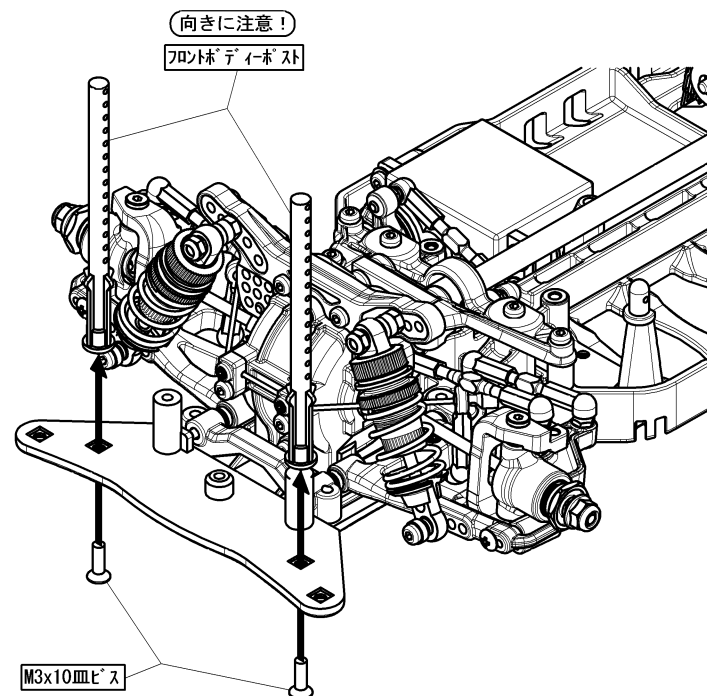
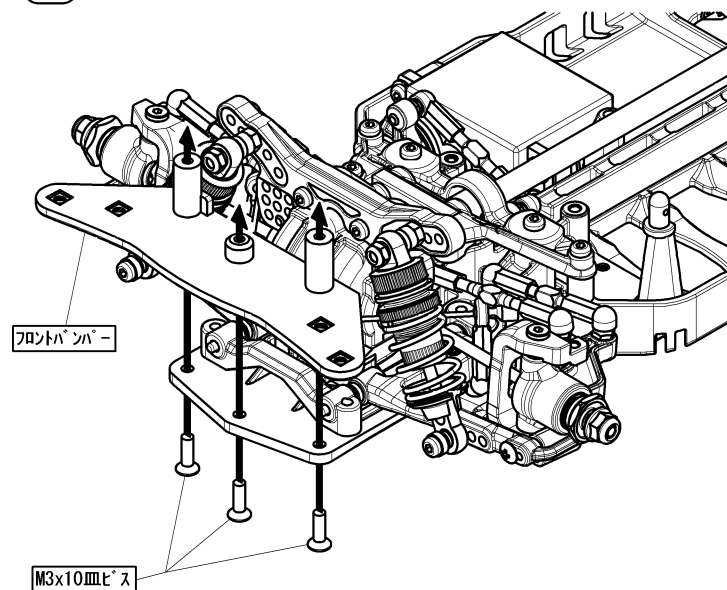
注意！ アンチロールバーホルダーのセット
スクリューはしめ過ぎないで下さい。
アンチロールバーの動きが悪くなり
走行性能に影響します。

【 袋-⑬ の内容 】

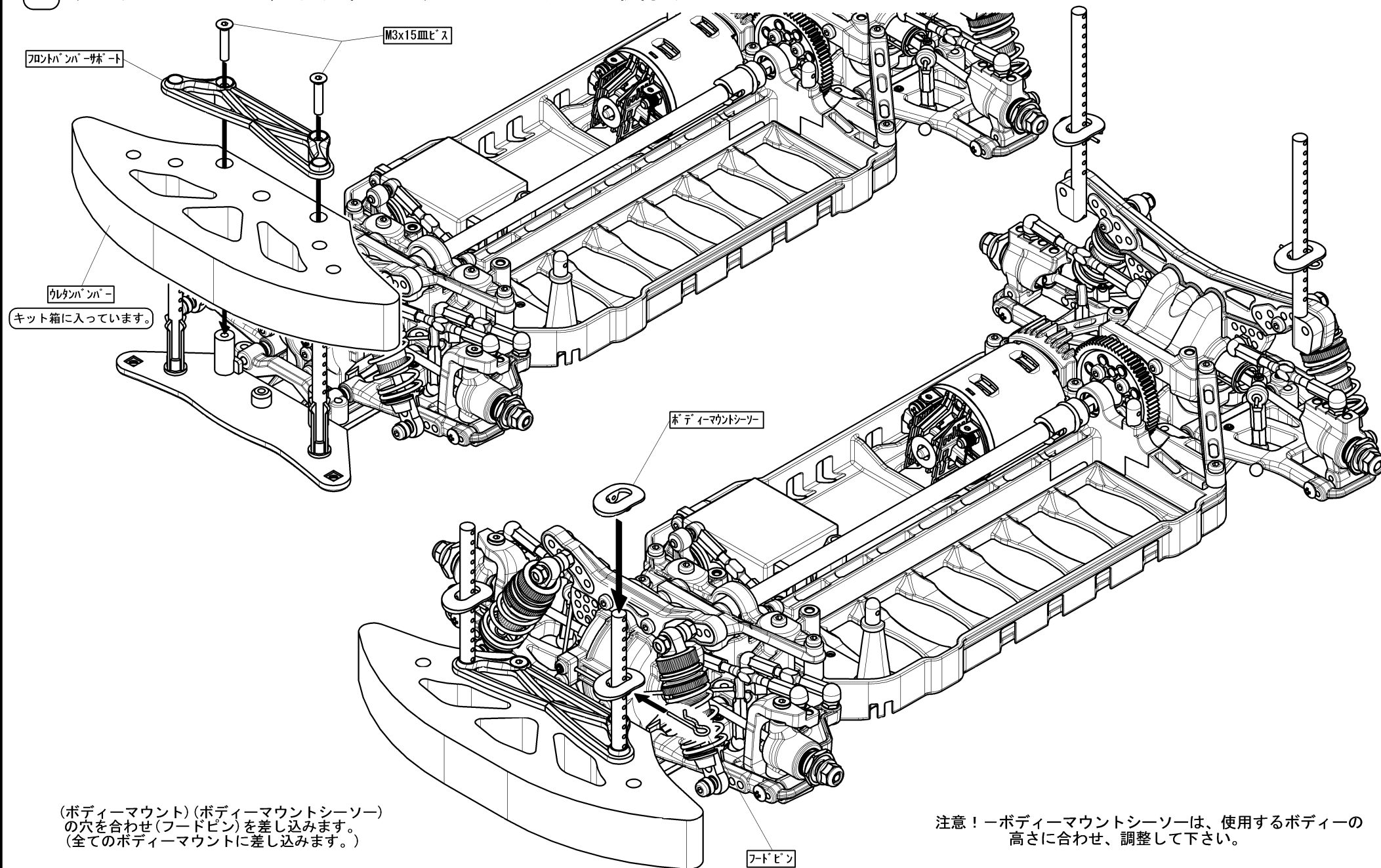


その他、アンテナキャップ、両面テープ
ハイト&ドループゲージ 各1ヶ

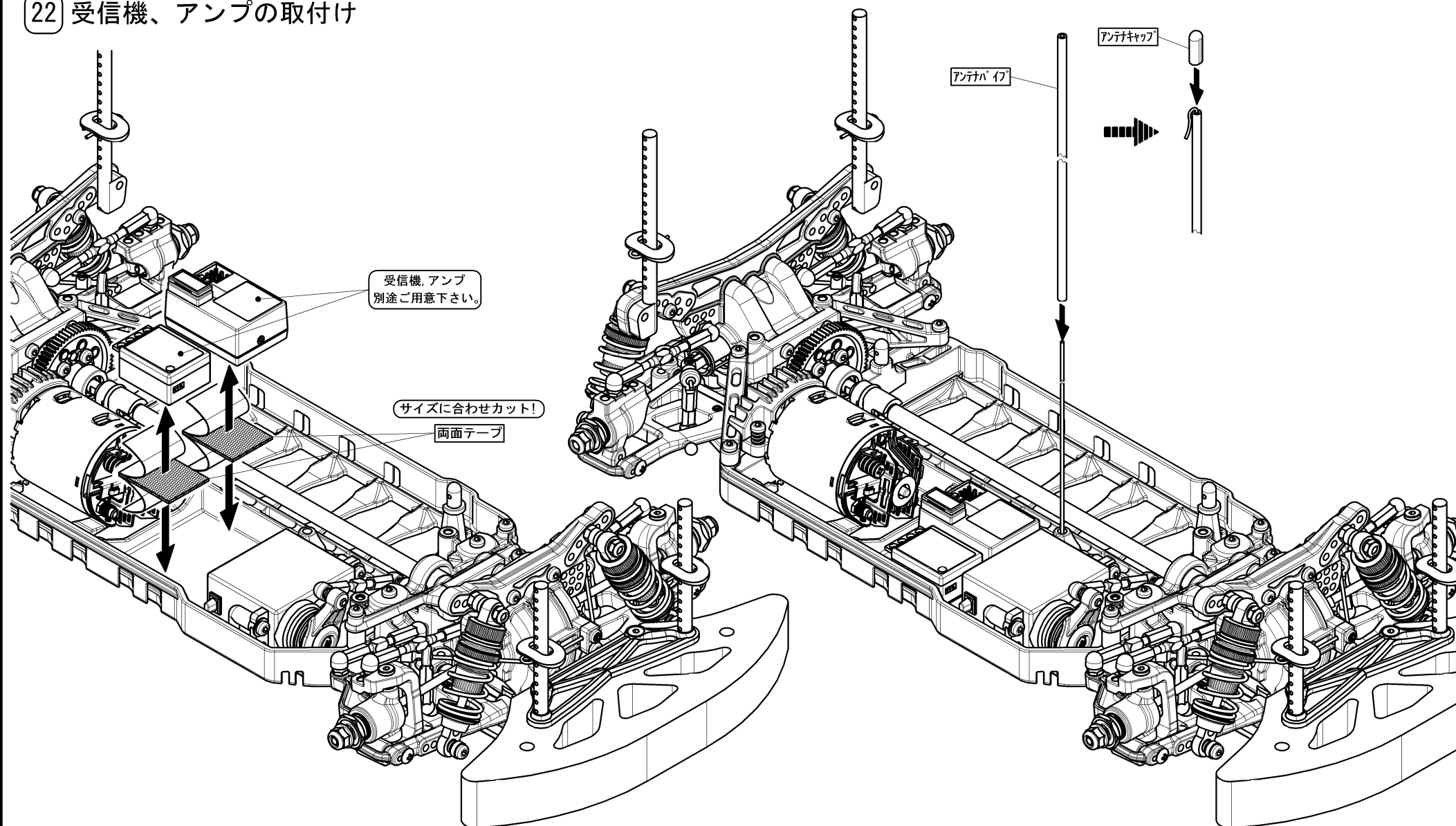
20 フロント&リアバンパー、ボディポストの取付け



21 ウレタンバンパー、ボディーマウントシーソーの取付け



22 受信機、アンプの取付け



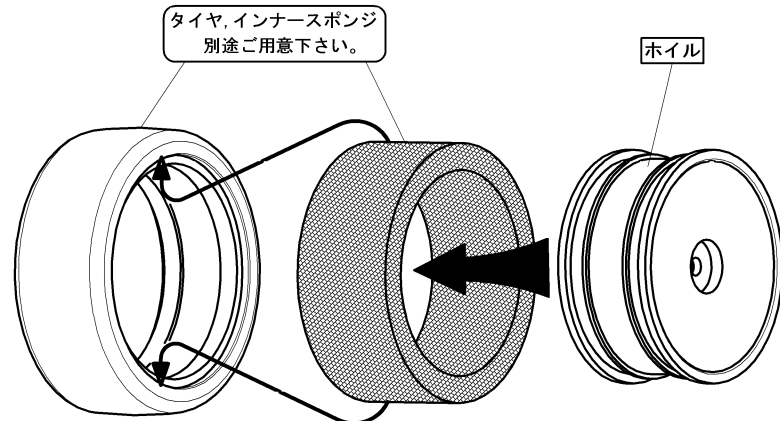
注意! ①(受信機)(アンプ)の固定は付属の両面テープを使用しシャーシにしっかりと固定して下さい。
(接着面をクリーナーなどで脱脂しておくと、はがれにくくなります。)

アンテナ線をイラストのようにアンテナマウントからアンテナパイプに通し、先端が2cm位出た所でアンテナパイプをマウントへ深めに差込み、アンテナキャップを被せて下さい。

注意! ②余ったアンテナ線はメインドライブシャフトなどの稼動部分に触れない様に束ねて下さい。

23 タイヤの接着、ホイールハブの取付け

タイヤにインナースポンジを押込み、タイヤのリップをホイールのミゾにはめ込みます。
(ホイールはキット箱に入っています。タイヤ、インナースポンジは別途ご用意下さい。)



タイヤのサイドをめくり、ホイールとの隙間に
瞬間接着剤を流し込み、両サイドを接着します。

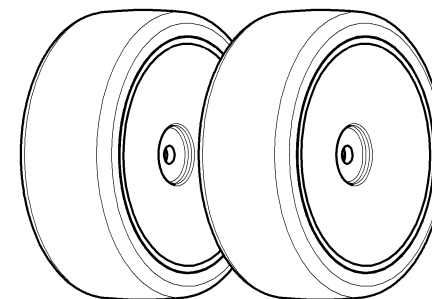
瞬間接着剤
別途ご用意下さい。



【取付け前にちょっと注目！】

各路面に対応できる、タイヤ、ホイール、インナースポンジ
インナーモールドなどを各種ラインナップしております。

各商品の詳しい情報は [ヨコモ 総合カタログ] もしくは
[ヨコモホームページ <http://www.teamyokomo.com>] をご覧下さい。

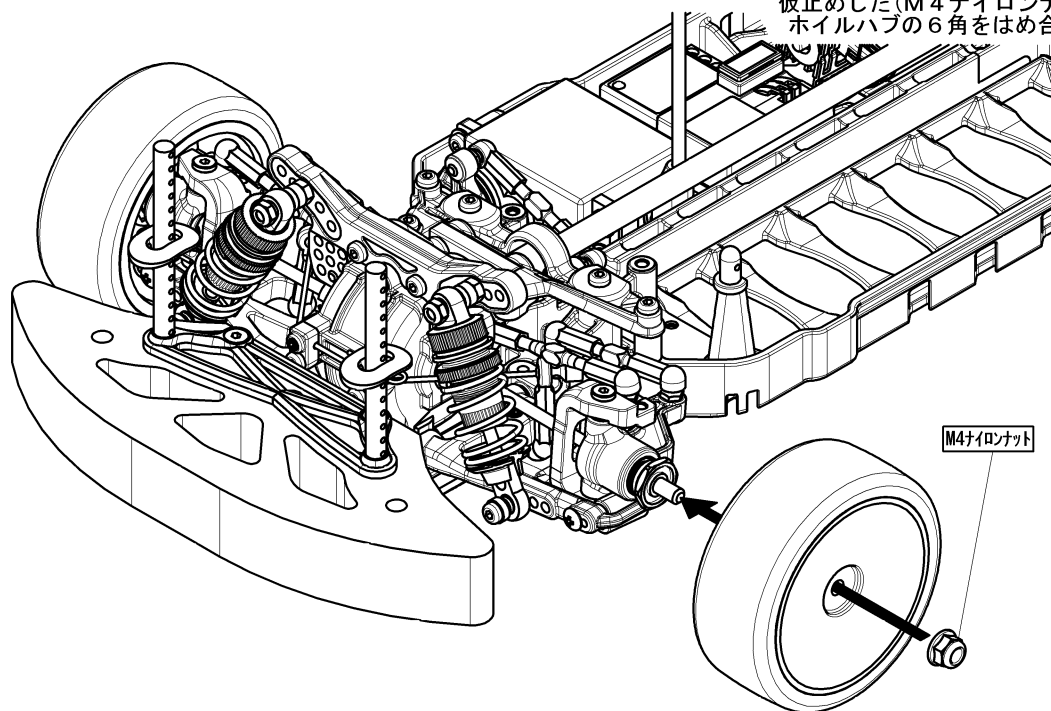


4本作ります。

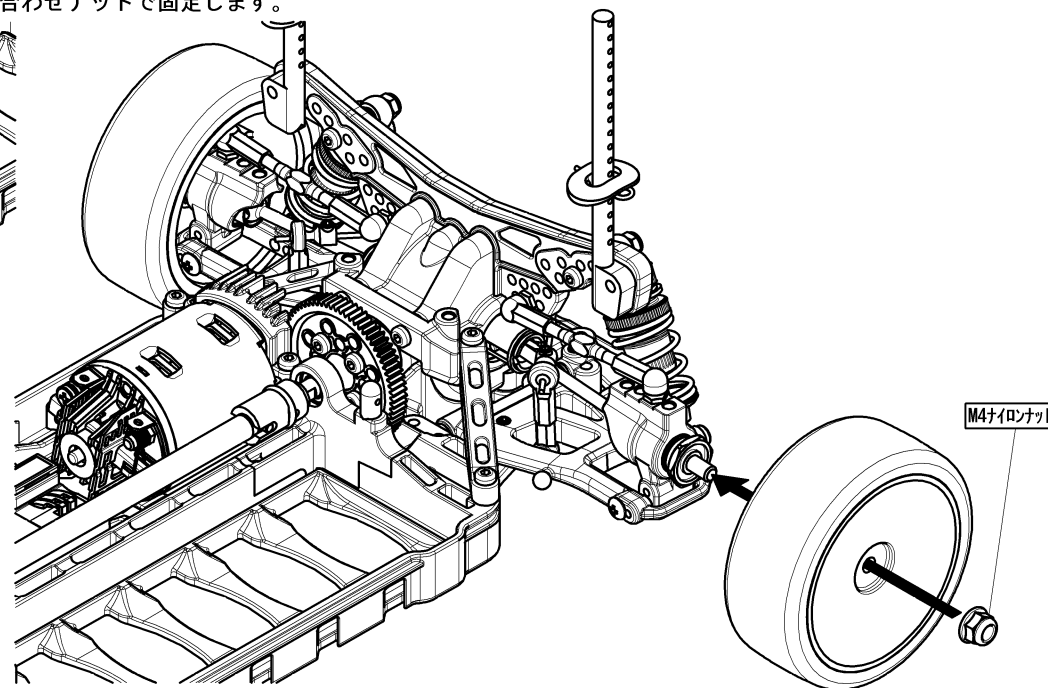
フロント側

【反対側も同じ様に固定します。】

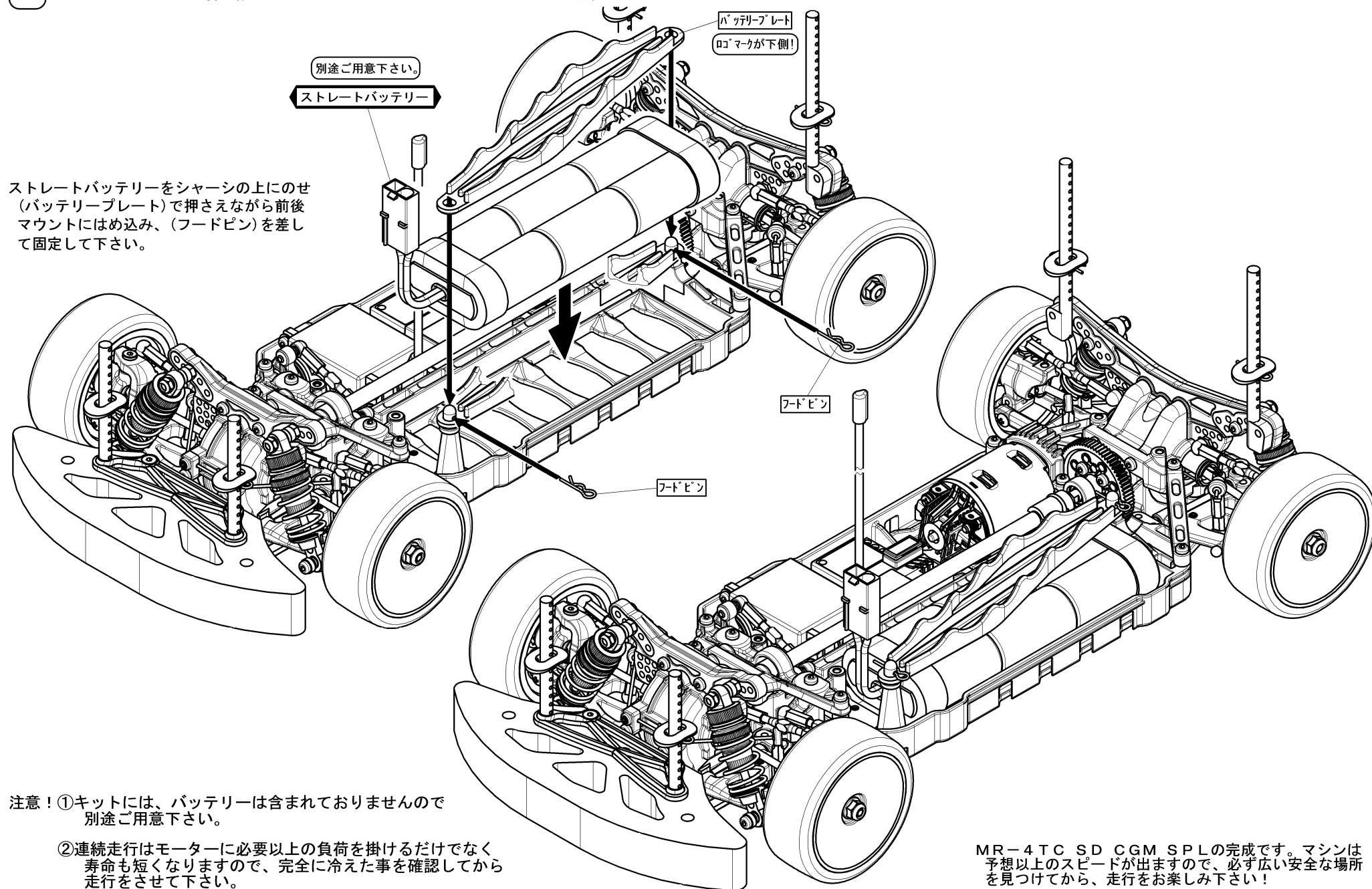
仮止めた(M4ナイロンナット)を外し、ホイールと
ホイールハブの6角をはめ合わせナットで固定します。



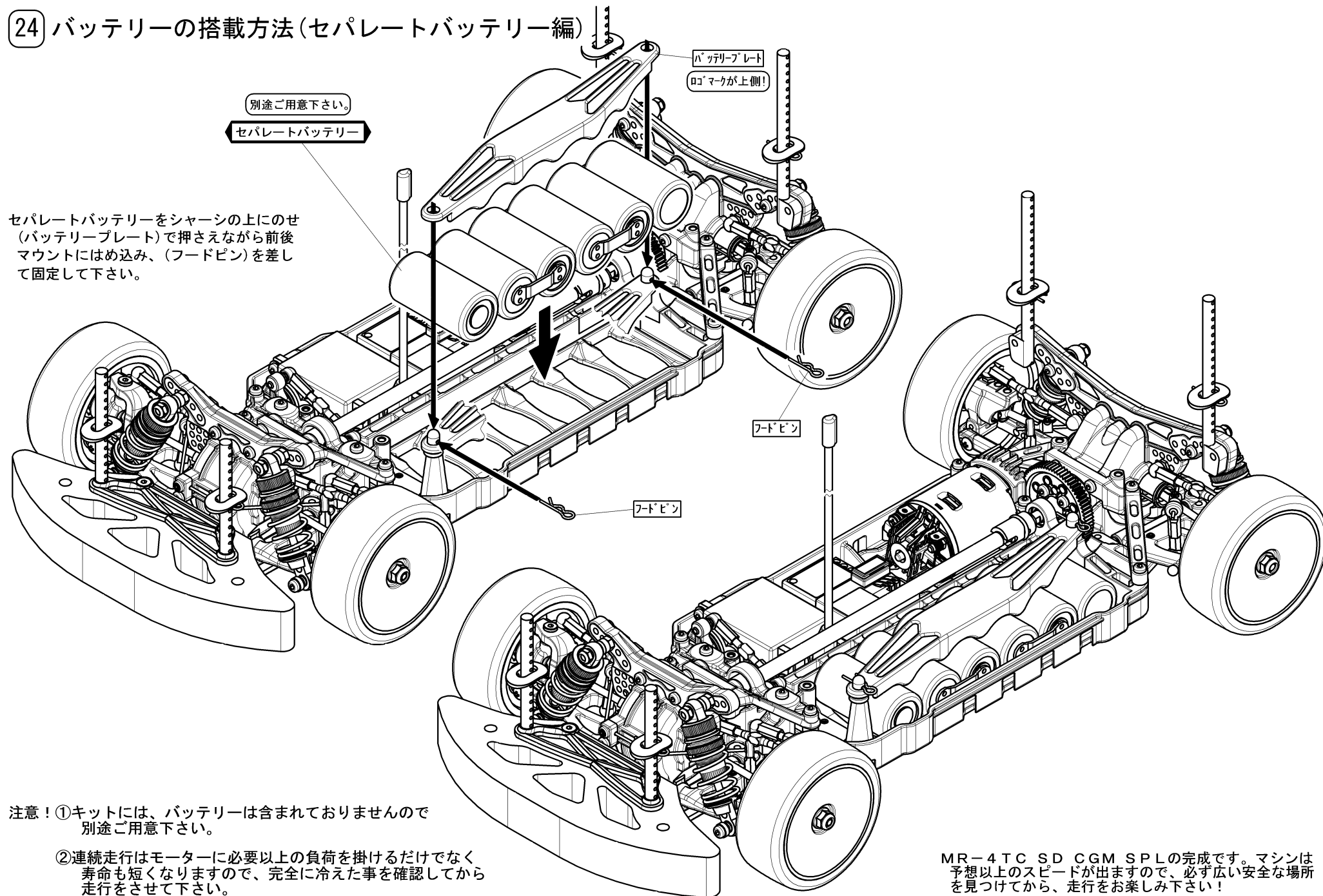
リア側



24 バッテリーの搭載方法(ストレートバッテリー編)



24 バッテリーの搭載方法(セパレートバッテリー編)



MR-4TCS D

SETTING SHEET

CIRCUIT

- 環境
路面
グリップ
路面状況
- ☐ インボア → ☐ アウトボア
→ ☐ アスファルト → ☐ コンクリート → ☐ カーペット
→ ☐ 高い → ☐ 普通
→ ☐ フラット → ☐ バンピー

DRIVER

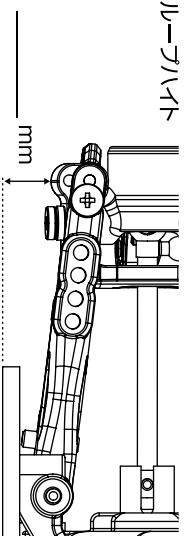
DATE

FRONT

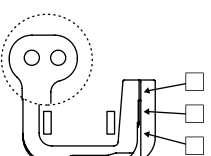
- 駆動系
- ☐ フロントエイ
→ ☐ ボールジョイント
→ ☐ ソリッド
- スタビライザー → ☐ 無し
→ ☐ アッパース
→ ☐ ロア
- STアロックス → _____ mm
ハブギヤリア → _____ 度
キャンバール角 → _____ 度
トー角 → _____ 度
サスアウントスキャンド角 → _____ 度
サスアウントハイトスベールサー
(前側後側共に) → _____ mm

- タイヤフラム → ☐ _____
エアレーション → ☐ _____
シヨックボデー → ☐ SSS
→ ☐ SS
シヨックエンド → ☐ ロング
→ ☐ ショート
→ ☐ アンシ
- 全長 → _____ mm
スプリング → _____
オイル → _____
ピストン → _____

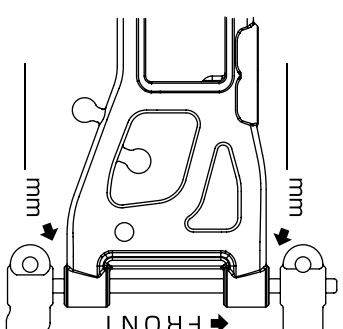
ビルーグハイト



"I"アーム位置・シヨック位置



ロアサスアーム位置

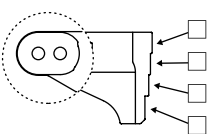


REAR

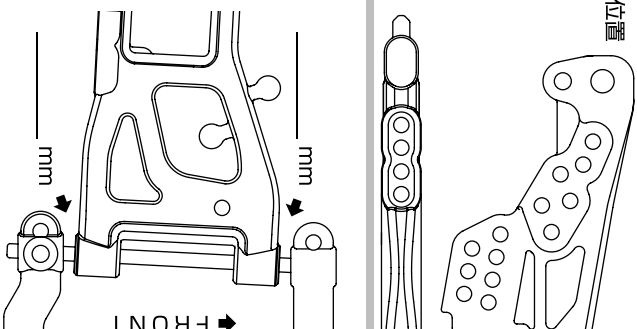
- スタビライザー → ☐ 無し
→ ☐ アッパース
→ ☐ ロア
- ハブギヤリア → _____ 度
キャンバール角 → _____ 度
サスアウント (トー角)
→ ☐ 1度
→ ☐ 2度
→ ☐ 3度
サスアウントスキャンド角 → _____ 度
サスアウントハイトスベールサー
(前側後側共に) → _____ mm

- タイヤフラム → ☐ _____
エアレーション → ☐ _____
シヨックボデー → ☐ SSS
→ ☐ SS
シヨックエンド → ☐ ロング
→ ☐ ショート
→ ☐ アンシ
- 全長 → _____ mm
スプリング → _____
オイル → _____
ピストン → _____

"I"アーム位置・シヨック位置



ロアサスアーム位置

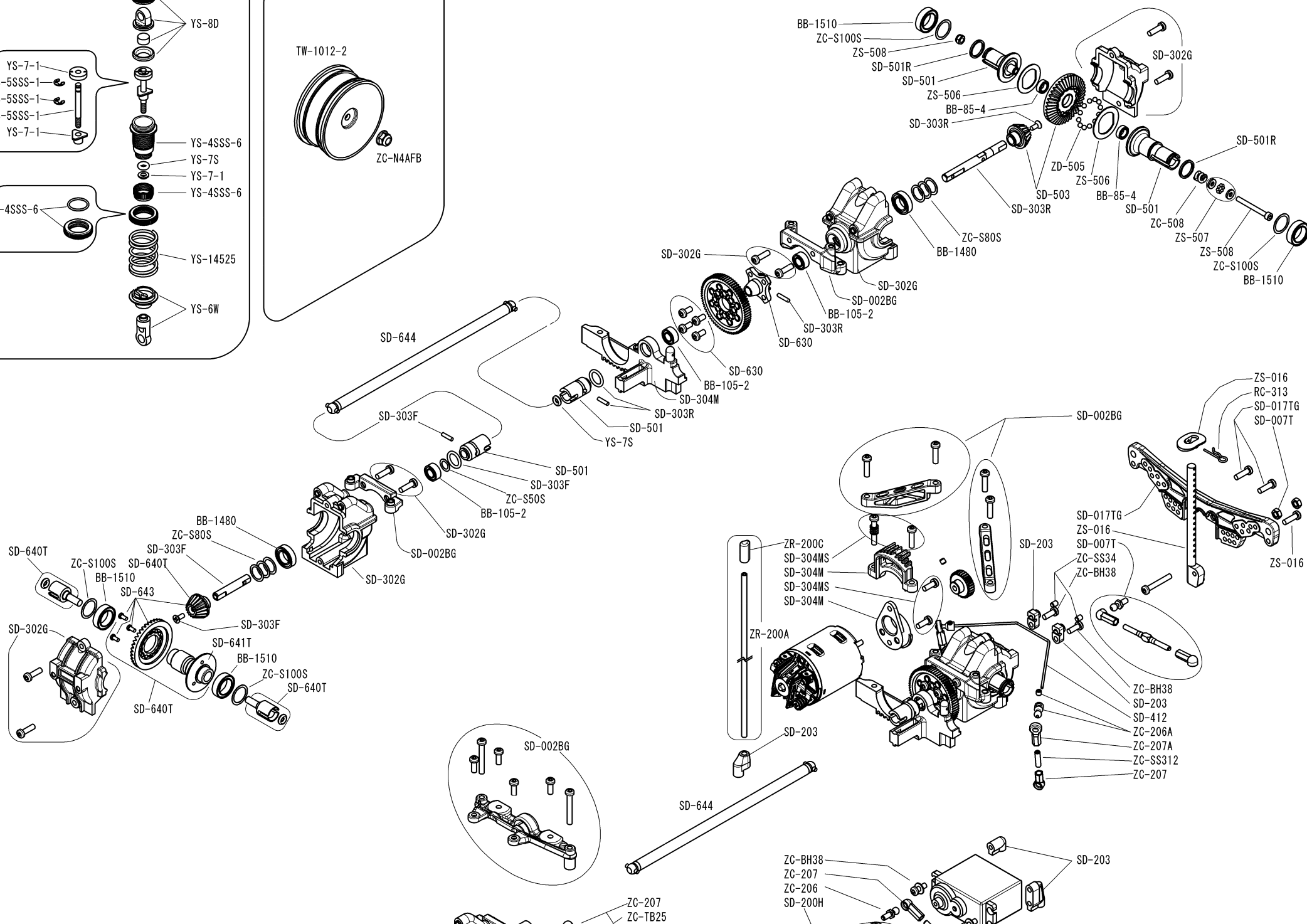
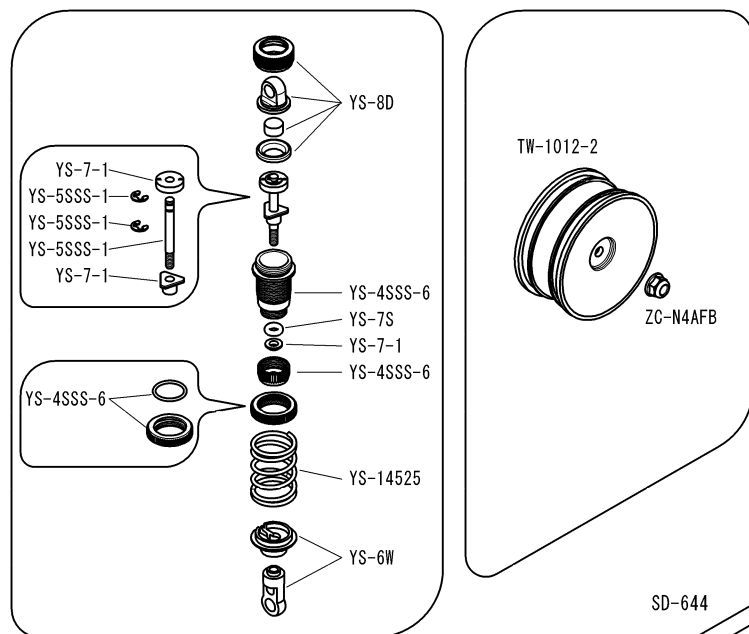


OTHER

- タイヤ → _____
インナー → _____
ホーール → _____
トラクション剤 → ☐ 無し
→ ☐ _____
- スパーギヤ → _____ P _____ T
ピニオンギヤ → _____ P _____ T
ギヤ比 → _____ : 1
= スパーギヤ ÷ ピニオンギヤ × 2.35 (二次減速比)
- 車高
→ F _____ mm
→ R _____ mm

- モーター → _____
バッチリー → _____
ESC → _____
フロント ボデーアウント ポジション
→ ☐ 内側
→ ☐ 外側
ボデー → _____
ウイング → _____

COMMENT



As a manufacturer of World Championship winning cars,

Yokomo will continue to provide the best available technology to R/C enthusiasts all over the world.

Enjoy this product knowing that you are driving one of the best handling R/C cars ever designed.

YOKOMO

World Champions



世界のブランド YOKOMO

ヨコモは競技用R/Cカー（ラジオコントロールカー）の専門メーカーです。その製品は、全日本選手権、全米選手権、ヨーロッパ選手権、そしてR/Cカーレースの最高峰である世界選手権レースでも優勝。世界中のR/Cカーマニアに愛用されています。

株式会社 ヨコモ 〒120-0005 東京都足立区綾瀬 5-23-7 <http://www.teamyokomo.com>
TEL 03-5613-7553 FAX 03-5613-7552 営業時間：9時～12時 13時～17時（祝祭日を除く月～金）



YOKOMO USA INC. 17951 SKY PARK CIRCLE, BLD. 35 SUITE K, IRVINE, CA. 92614 U.S.A.
<http://www.yokomousa.com> TEL 949-252-8663 FAX 949-252-8657

MR-4TC SD CGM SPECIAL Kit

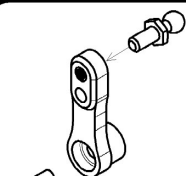
補足説明書

YOKOMO LTD. 2004.01

説明書に記載されております袋内容と異なる部分があります。

- ・袋-③モーターマウント、シャシーブレース
 - ・袋-⑥モーターカム、モータークランプ、モーターマウントスプリング
 - ・リヤ用アンチロールバー・ブラック
- 上記のパーツは別袋に入っております。

組立て説明書 Page-12 ⑩サーボセイバー、サーボの取付け

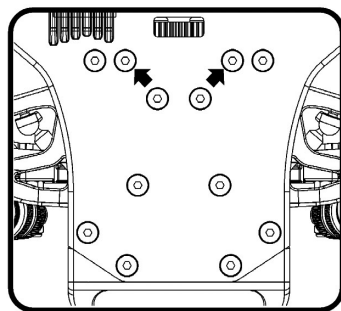


サーボ付属のビスを使用して下さい。

- ・ダイレクトなステアリングのフィーリングを望む方はサーボセイバーホーンの替わりに左図のサーボホーンをご使用ください。
- ※ただし大きなクラッシュではサーボギヤが破損する恐れがありますので十分注意して下さい。

組立て説明書 Page-18 ⑯リヤロアサスアームの取付け

- ・サスアーム組込み後、サスアームがスムーズに作動しているか確認して下さい。
- ・サスアームの作動が渋い場合、サスマウント取付けビスの締め込み過ぎによるサスアームピンの歪みが渋さの原因です。組込み後、作動を確認しながらサスマウント取付けビスを締め込みなおして下さい。あまり変化が見られないようでしたら、図の矢印部のビスを外してご使用下さい。
- ・このビスを取り外しても走行上の問題はありません。
- ・フロントも同様です。

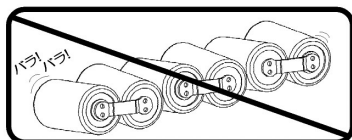


組立て説明書 Page-22 ⑰前後アンチロールバーの取付け

- ・リヤ用のアンチロールバーは別袋のブラックをご使用ください。

組立て説明書 Page-28 バッテリーの搭載方法

※バッテリー搭載時の注意※



ご使用されるバッテリーのセル同士のゆがみにご注意ください。クラッシュ等の衝撃でバッテリーバーが変形する恐れがあります。セルの並びが変形したバッテリーを搭載した際にシャシーにねじれや歪みが生じ、走行に悪影響を及ぼす恐れがあるためご注意ください。

必ず、バッテリーはセル同士が水平に並んだ状態でご使用下さい。また、固定の際に、バッテリープレートはバッテリーを押さえつけず多少のガタを持たせてください。